

The 63rd Annual Congress of
Japan Municipal Hospital Association
in Gunma



第63回

全国自治体病院学会 in 群馬

開催案内

変わりゆく
明日の医療
紡ぎ織りなす
自治体病院

シームレスな
多職種連携をめざして



©群馬県ぐんまちゃん
01039-01

会期

2025年10月30日(木)・31日(金)

会場

Gメッセ群馬

学会長

内藤 滋人 群馬県立心臓血管センター院長

主催／公益社団法人 全国自治体病院協議会

共催／全国自治体病院開設者協議会

<https://www.c-linkage.co.jp/jmha63/>



磁気共鳴診断装置

MAGNETOM Flow

Empowering you.

www.siemens-healthineers.com/jp



ビジュアル内で使用されている臨床画像及び科学的画像はイメージです。特定個人のものではなく、また当社製品の使用により得られるものではありません。



Tackle to mega challenges in MRI by technological innovations.

サステナブルで効率的な病院経営を支える ヘリウムフリー* 1.5T MRI 装置

MAGNETOM Flowは、サステナブルな次世代型 1.5T MRI プラットフォームで、日常の検査に抜本的な新しいフローをもたらします。ヘリウムに依存しない超電導MRIの新時代を切り拓き、AIを活用した新たなイメージングプロセスを通じて、画期的なワークフローのシンプルさ、そして卓越した高品質の画像をかつてないスピードで提供します。MAGNETOM Flowは、サステナブルで効率的なMRI検査運用を実現します。

| | | |
|--|---|--|
| | | |
| サステナブルな1.5T MRI | 画期的にシンプルなワークフロー | 卓越した臨床的有用性 |
| <ul style="list-style-type: none">クエンチパイプ不要、ヘリウム再補充不要コンパクト設計、軽量化エネルギー消費の削減 | <ul style="list-style-type: none">多チャンネルで効率的な受信コイルワンタッチの被検者ポジショニングワンクリックでスキャンを自動化 | <ul style="list-style-type: none">1.5Tハイエンド機種と同等の静磁場均一性超解像かつ高倍速を実現するAI画像再構成技術多種多様な高速撮像技術 |

* 液体ヘリウムは0.7リットルのみ使用

SIEMENS
Healthineers



CONTENTS

| | |
|----------------------|----|
| 学会へのご案内（ごあいさつ） | 3 |
| 会期・会場及びお問合せ先 | 4 |
| 会場までのアクセス・会場周辺案内図 | 5 |
| 学会日程表（予定） | 6 |
| 総会プログラム | 10 |
| 分科会プログラム | |
| [職種・技術系] | |
| 看護・看護教育分科会 | 12 |
| 臨床医学分科会 | 13 |
| 臨床医学分科会（精神科領域） | 14 |
| 薬剤分科会 | 15 |
| 臨床検査分科会 | 16 |
| 放射線分科会 | 17 |
| 栄養分科会 | 18 |
| リハビリテーション分科会 | 19 |
| 臨床工学分科会 | 20 |
| [経営・管理系] | |
| 経営・管理分科会 | 21 |
| 地域医療・連携・福祉分科会 | 22 |
| 地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域） | 23 |
| 学会参加登録 | 24 |
| 演題発表申し込み（一般演題） | 28 |
| ポスターセッションについて | 32 |
| 宿泊のご案内 | 34 |
| エクスカーションのご案内 | 36 |

※2025年3月7日現在

変わりゆく明日の医療 紡ぎ織りなす自治体病院

—シームレスな多職種連携をめざして—

学会長 内藤 滋人
群馬県立心臓血管センター 院長



このたび、第63回全国自治体病院学会を2025年10月30日（木）から31日（金）の2日間にわたり、群馬県高崎市のGメッセ群馬において開催することとなりました。

本学会のメインテーマは「変わりゆく明日の医療 紡ぎ織りなす自治体病院 —シームレスな多職種連携をめざして—」と設定しています。

「明日の医療」は、様々な変遷が考えられます。最も大きな問題は、まさに2025年、団塊の世代のすべてが後期高齢者となり、高齢者医療が逼迫することです。さらにその先の2040年には、高齢者人口も減少に転じ、地域医療構想を含めた医療体制の再編も必須となります。さらには、働き方改革に伴うタスクシフト、新興感染症への対応など、多くの課題もございます。

本学会では、このように多くの課題を抱える「明日の医療」に対し、自治体病院はどのように向き合っていくべきか、検討を重ねる場にしたいと思っています。各分科会における講演やシンポジウム、そして一般演題を通じ、参加者間で最新の知識や情報を交換・発信し、時宜をとらえた議論を展開してまいります。

総会シンポジウムIでは、「変わりゆく明日の医療：自治体病院の未来予想図」を企画いたしました。先に挙げた多くの課題に対し、自治体病院は、未来に繋ぐ医療の砦として、しっかり対応していかなければなりません。そこで、自治体病院の進むべき未来の方向性について、様々な観点から議論したいと考えています。

またシンポジウムIIでは、「心不全パンデミックにおけるシームレスな連携」を企画いたしました。高齢化社会の進展に伴って心不全患者さんが大幅に増加する「心不全パンデミック」について、またその対策としての「多職種連携」について、議論を展開する予定です。

今学会は1960年の第1回学会開催以来、初の群馬県開催となります。山々に囲まれた群馬は、関東地方の水源地であり良質な水の宝庫です。こうした環境で作られた清酒や農畜産物を、お越しの際にぜひ味わっていただければと思います。また、県内には草津温泉や伊香保温泉をはじめ、多くの名湯がございます。温泉で日頃の疲れを癒していただき、明日の医療に向けて気持ちを切り替え、進んでいく機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



会期・会場及びお問合せ先

会期

第1日目 2025年10月30日(木)

開会式、会長特別講演、総会シンポジウムⅠ、分科会、ランチョンセミナー、一般演題(ポスター)、交流会

第2日目 2025年10月31日(金)

第62回全国自治体病院学会最優秀演題発表、総会シンポジウムⅡ、分科会、総会特別講演Ⅰ・Ⅱ(県民公開講座)、ランチョンセミナー、一般演題(ポスター)、閉会式

会場

G×ツセ群馬

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12番24号 TEL: 027-322-2100



お問合せ先

学会事務局

群馬県立心臓血管センター事務局総務課

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲3-12

TEL: 027-269-7184 FAX: 027-269-1492

運営事務局

【学会の運営・プログラム、演題登録についてはE-mailでお問合せください】

株式会社コンベンションリンケージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693

E-mail: jmha63@c-linkage.co.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 9:30～17:30(土日祝は休業)

オフィシャル・トラベルエージェント

【事前参加登録・宿泊・エクスカーションについてのお問合せ先】

東武トップツアーズ株式会社高崎支店内

「第63回全国自治体病院学会in群馬」担当

〒380-0828 群馬県高崎市宮元町212 高崎宮元町ビル9階

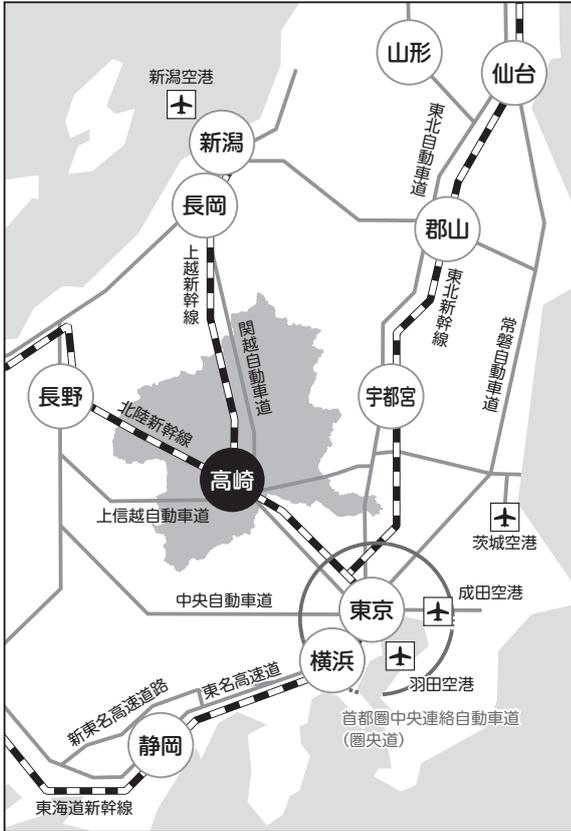
TEL: 050-9001-8731 FAX: 027-325-3913

お問合せ専用ダイヤル: 070-1772-7852

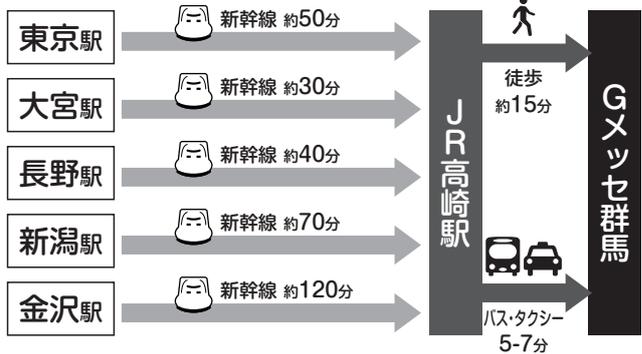
E-mail: jmha63@tobutoptours.co.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 9:30～17:30(土日祝は休業)

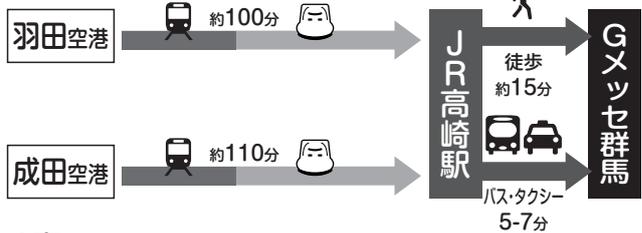
会場までのアクセス・会場周辺案内図



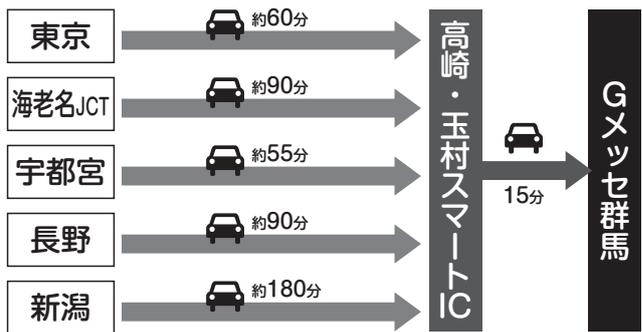
■ 電車



■ 飛行機

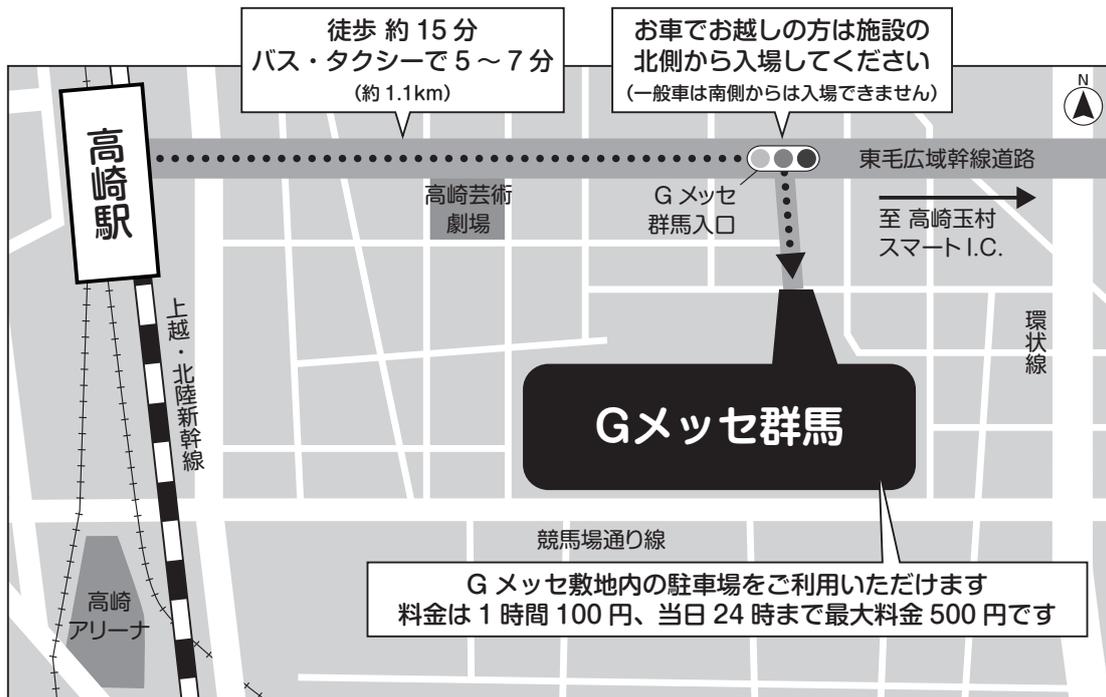


■ お車



【会場へのアクセス】

Gメッセ群馬 〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12番24号 TEL:027-322-2100



学会日程表 (予定)

1日目 10月30日(木)

8:30

9:00

10:00

11:00

12:00

| | | 8:30 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 |
|--------------|--------------|------|-----------|-------------------------------------|--|-------|
| 第1会場 | 展示ホール A | | 開会式 | 会長特別講演 『新たな地域医療構想と 自治体病院のあり方』 | 総会シンポジウム I 『変わりゆく明日の医療： 自治体病院の未来予想図』 | |
| 第2会場 | メインホール C | | | | | |
| 第3会場 | メインホール B | | | | | |
| 第4会場 | メインホール A | | | | | |
| 第5会場 | 中会議室 202 A B | | | | | |
| 第6会場 | 中会議室 201 A B | | | | | |
| 第7会場 | 中会議室 302 A B | | | | | |
| 第8会場 | 中会議室 301 A B | | | | | |
| ポスター 企業展示 | 展示ホール BC | | ポスター受付・貼付 | | ポスター閲覧 | |
| | | | | 企業展示 | | |

12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00

| | | | | | | | | |
|--|----------------|--|--|--|--|--|--|-----|
| | ランチョン セミナー① | | | | | | | 交流会 |
| | ランチョン セミナー② | 看護・看護教育分科会 『共に紡ぐ看護の未来～これからの看護の課題と展望～』 | | | | | | |
| | | 特別講演 『看護部門の役割 ～実践（真っ当な 看護を）～』 | シンポジウム 『病院と地域が共に 紡ぎ織りなす看護の未来』 | | | | | |
| | ランチョン セミナー③ | 経営・管理分科会 『地域医療の中核としての自治体病院を守り育てる』 | | | | | | |
| | | 特別講演 『公立病院必要論… 現実とファンタジー の狭間で！』 | シンポジウム 『自治体病院の生き残りをかけて』 | | | | | |
| | ランチョン セミナー④ | 薬剤分科会 『病院薬剤師の現状と未来』 | | | | | | |
| | | 特別講演 『高齢者心不全の 薬物治療の現状と課題』 | シンポジウム 『病院薬剤師の現状と未来への可能性』 | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑤ | 臨床医学分科会 『持続可能な医療提供体制の構築～少子高齢化時代における健康の維持と医療の確保～』 | | | | | | |
| | | 特別講演 『疾病の予防』 | シンポジウム 『地域（地方）における医師偏在対策』 | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑥ | 栄養分科会 『健康の未来～腸内細菌の秘めたるチカラと可能性～』 | | | | | | |
| | | 特別講演Ⅰ 『麹甘酒のチカラ 麹菌の健康効果 について』 | 特別講演Ⅱ 『便秘に克つ！ 腸の大事さ』 | 特別講演Ⅲ 『人生100年時代の 健康長寿対策を考える！ ～杉田玄白「養生七不可」 を陽からひも解く～』 | | | | |
| | | 放射線分科会 『タスク・シフト／シェアがもたらす放射線部門の光と影』 | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑦ | 特別講演 『病連携のための 遠隔画像診断の有用性、 問題点、診断に必要な 高コントラスト画像の勧め』 | シンポジウム 『静脈穿刺 現状共有と今後の課題について』 | | | | | |
| | | | 経営・管理分科会 医療の質・医療安全指標の 評価・公表等推進事業 シンポジウム | | | | | |
| | ポスター閲覧 | | ポスター発表 | | | | | |
| | 企業展示 | | | | | | | |

学会日程表（予定）

学会日程表（予定）

2日目 10月31日(金)

8:30

9:00

10:00

11:00

12:00

| | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|------|------|---|--|--|--|--|---|
| 第1会場 | 展示ホール A | 8:30 | 9:00 | 第62回 最優秀演題発表 | | | 総会シンポジウムⅡ 『心不全パンデミックにおける シームレスな連携』 | | |
| | | | | 地域医療・連携・福祉分科会 『力あわせる医療の砦 ～地域に寄り添った連携～』 | | | シンポジウム 『身寄りのない人の支援について』 | | |
| 第2会場 | メインホール C | 8:30 | 9:00 | 特別講演 『自治体病院の地域に おける役割と対応』 | | | シンポジウム 『身寄りのない人の支援について』 | | |
| | | | | リハビリテーション分科会 『超高齢化社会を支えるリハビリテーション～紡ぎ織りなす地域連携～』 | | | シンポジウム 『超高齢化社会を支えるリハビリテーション ～紡ぎ織りなす地域連携～』 | | |
| 第3会場 | メインホール B | 8:30 | 9:00 | 特別講演 『認知症と自動車運転 ～近未来への対応と 地域社会的課題』 | | | シンポジウム 『超高齢化社会を支えるリハビリテーション ～紡ぎ織りなす地域連携～』 | | |
| | | | | 臨床検査分科会 『臨床検査技師のチカラ！～今、私たちにできること～』 | | | 特別講演Ⅲ 『感染症医が語る臨床 検査技師への期待と グラム染色検査の魅力』 | | |
| 第4会場 | メインホール A | 8:30 | 9:00 | 特別講演Ⅰ 『群馬県内における 臨床検査値標準化への 取り組み』 | | | 特別講演Ⅱ 『大規模災害 (オールハザード)に どう備えるか』 | | 特別講演Ⅲ 『感染症医が語る臨床 検査技師への期待と グラム染色検査の魅力』 |
| | | | | 臨床工学分科会 『その先の可能性を広げよう～次へ繋げるために～』 | | | シンポジウム 『いま、地域医療を支えて進む ～そして、これからを考える～』 | | |
| 第5会場 | 中会議室 202A B | 8:30 | 9:00 | 特別講演 『臨床工学技士の 多職種連携』 | | | シンポジウム 『いま、地域医療を支えて進む ～そして、これからを考える～』 | | |
| | | | | 臨床医学分科会(精神科領域) 『様々なニーズに対応する 精神医療・精神保健活動』 | | | 地域医療・連携・福祉分科会(精神科領域) 『様々なニーズに対応する精神医療・精神保健活動』 | | |
| 第6会場 | 中会議室 201A B | 8:30 | 9:00 | 特別講演 『緩和ケアにおける 精神医学の役割』 | | | シンポジウム 『中山間等人口減少地域に 必要とされるメンタルヘルス』 | | |
| | | | | 経営・管理分科会 | | | 医師事務作業補助者の活用に関する シンポジウム(仮称) | | |
| 第7会場 | 中会議室 302A B | 8:30 | 9:00 | 経営・管理分科会 | | | 医師事務作業補助者の活用に関する シンポジウム(仮称) | | |
| | | | | 経営・管理分科会 | | | 医師事務作業補助者の活用に関する シンポジウム(仮称) | | |
| 第8会場 | 中会議室 301A B | 8:30 | 9:00 | 経営・管理分科会 | | | 医師事務作業補助者の活用に関する シンポジウム(仮称) | | |
| | | | | 経営・管理分科会 | | | 医師事務作業補助者の活用に関する シンポジウム(仮称) | | |
| ポスター 企業展示 | 展示ホール BC | 8:30 | 9:00 | 一般演題発表 | | | 一般演題発表 | | |
| | | | | 企業展示 | | | 企業展示 | | |

| 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 |
|--------|----------------|--------|----------------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| | ランチョン セミナー⑨ | | 総会特別講演 I (県民公開講座) | 総会特別講演 II (県民公開講座) | 閉会式 | | | |
| | ランチョン セミナー⑩ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑪ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑫ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑬ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑭ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑮ | | | | | | | |
| | ランチョン セミナー⑯ | | | | | | | |
| ポスター閲覧 | | ポスター撤去 | | | | | | |
| 企業展示 | | | | | | | | |

第1日目 2025年10月30日（木）

◇開会式 8：45～9：30

◇会長特別講演 9：30～10：30

演 題 『新たな地域医療構想と自治体病院のあり方』
演 者 望月 泉（公益社団法人全国自治体病院協議会 会長）
座 長 内藤 滋人（群馬県立心臓血管センター 院長）

◇総会シンポジウムⅠ 10：30～12：20

テ ー マ 『変わりゆく明日の医療：自治体病院の未来予想図』

明日の医療は、様々な変遷をたどると考えられます。

最も大きな問題は、まさに今年2025年に団塊の世代のすべてが後期高齢者となり、高齢者医療が逼迫することです。さらにその先の2040年には、高齢者人口も減少に転じ、地域医療構想を含めた医療体制の再編が必須となります。そして、地域の高齢者医療を担う医師の偏在化対策も考えていかなければなりません。

また、日常診療においては、働き方改革への対応を見据えた多職種連携によるタスク・シフト、コロナ後の新興感染症への対応など、多くの課題もあります。

そのような「変わりゆく明日の医療」に対して、自治体病院は未来に繋ぐ医療の砦として、しっかり対応し、活動していかなければなりません。

本シンポジウムでは、こうした様々な課題に関して、「変わりゆく明日の医療」に対する自治体病院の未来の方向性を討論していきたいと考えています。

シンポジストⅠ 松田 晋哉（産業医科大学 公衆衛生学 教授）
シンポジストⅡ 調 整 中（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室長）
シンポジストⅢ 西澤 延宏（JA長野厚生連 佐久総合病院 外科医長）
シンポジストⅣ 林 俊誠（前橋赤十字病院 感染症内科 部長）
コメンテーターⅠ 調 整 中（総務省職員）
コメンテーターⅡ 調 整 中（厚生労働省職員）
座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長
座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

第2日目 2025年10月31日（金）

◇第62回全国自治体病院学会最優秀演題発表 8:30～9:30

◇総会シンポジウムⅡ 9:30～12:20

テ－マ 『心不全パンデミックにおけるシームレスな連携』

2025年から2040年にかけては、団塊の世代の後期高齢者化に伴い、高齢者医療が逼迫し、自治体病院においても対策が急がれます。その中でも、高齢者を含めた心不全パンデミックへの対応が大きな課題となっています。現在、本邦における心不全患者数は年間で120万人と言われており、そのうち29万人が病院に入院しています。高齢化や生活習慣病の増加などに伴い、心不全患者数は年々増加しており、2030年には130万人以上に達し、2040年までは増加が継続すると予測されています。

心不全パンデミックの対策として、心不全の早期発見、急性期及び慢性期の治療体制の整備、さらには心臓リハビリ、在宅医療対策など、シームレスな対応が必要です。そしてそのシームレスな対応には、多職種間の連携が最も重要と考えられます。

本シンポジウムでは、心不全パンデミックにおけるシームレスな連携に関して、様々な視点から討論していきたいと考えています。

- シンポジストⅠ 石井 秀樹（群馬大学医学部 循環器内科 教授）
- シンポジストⅡ 小保方 優（群馬大学医学部附属病院 循環器内科 助教）
- シンポジストⅢ 大隅 進（静岡市立静岡病院 医療支援部臨床工学科長）
- シンポジストⅣ 高橋 哲也（順天堂大学保健医療学部 理学療法学科 副学科長）
- シンポジストⅤ 石原真由美（岐阜県総合医療センター 看護部）
- シンポジストⅥ 前村 浩二（長崎大学医学部 循環器内科 教授）
- コメンテーター 倉林 正彦（藤岡市国民健康保険鬼石病院 地域連携医療センター長
群馬大学 名誉教授）

座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

◇総会特別講演Ⅰ（県民公開講座） 14:00～15:00

テ－マ 『未定』

演 者 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の関係者を予定

◇総会特別講演Ⅱ（県民公開講座） 15:00～16:00

テ－マ 『未定』

演 者 斎藤 佑樹（株式会社斎藤佑樹 代表取締役、元北海道日本ハムファイターズ投手、
群馬県太田市出身）

◇閉会式 16:00～16:45

テーマ

『共に紡ぐ看護の未来～これからの看護の課題と展望～』



桐生厚生総合病院 院長
加藤 広行

本邦では、急速な少子高齢化の進展と本格的な人口減少社会の到来により、地域経済の縮小や医療福祉体制の危機などの社会的・経済的な課題が深刻化しています。地域では入院、外来、在宅にわたる医療介護体制の役割分担が重要視され、持続可能な地域医療構想の構築が必要不可欠となっております。

こうした社会情勢の中で、多方面に看護職の活躍の場が拡がり、全人的なケアと看護実践能力を育む看護・看護教育の重要性が高まっています。病院・診療所では、質の高い看護の実践とともに多職種連携やチーム医療を活用した療養や疾病予防などを実施する他、企業の研究所や学校の保健室などの健康づくりなど様々な活動の場があります。

そこで今回、看護・看護教育分科会のテーマを「共に紡ぐ看護の未来～これからの看護の課題と展望～」といたしました。急速に変わりゆく明日の医療を多職種連携で、シームレスに提供できる体制の構築が重要であります。その中で看護の未来がどうあるべきか、その課題と展望について考え、次世代に紡いでいきたいと考えています。

特別講演では、坂本すが先生に「看護部門の役割 ～実践（真っ当な看護を）～」をテーマにご講演いただき、シンポジウムでは「病院と地域が共に紡ぎ織りなす看護の未来」をテーマとして、3名の先生方にそれぞれの専門分野についてご発表いただきます。また一般演題は看護・看護教育分科会として19領域に亘るポスター発表で活発に討論していただきたいと存じます。そしてこの分科会から新たな情報を発信・共有し、知見が深まることを期待しております。

ご参加の皆様にとって実りのある有意義な分科会にしたいと考えておりますので、是非とも多くの皆様のご参集を衷心よりお願い申し上げます。

1. 特別講演【10月30日（木）14：00～15：00】

| | |
|----|--------------------------------|
| 演題 | 『看護部門の役割 ～実践（真っ当な看護を）～』 |
| 演者 | 坂本 すが（東京医療保健大学 副学長、元日本看護協会 会長） |
| 座長 | 神山 智子（群馬県看護協会 会長） |

2. シンポジウム【10月30日（木）15：00～17：00】

| | |
|---------|---|
| テーマ | 『病院と地域が共に紡ぎ織りなす看護の未来』 |
| シンポジストⅠ | 『この町で、“暮らし”、そして“生ききたい”を叶える看護～活動を通して見えてきた課題と未来予想図～』 宇都宮宏子（在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 代表） |
| シンポジストⅡ | 『「病院も地域、病院から在宅看護」という発想』 角田 直枝（常磐大学 看護学部 教授） |
| シンポジストⅢ | 『在宅看護の実際とこれから』 平原 優美（日本訪問看護財団 常任理事） |
| 座長 | 棚橋さつき（高崎健康福祉大学 保健医療学部 看護学科 教授） |

テーマ

『持続可能な医療提供体制の構築 ～少子高齢化時代における健康の維持と医療の確保～』

群馬県立がんセンター 院長
柳田 康弘



非都市部における喫緊の医療課題は、少子高齢化と医師不足です。

内閣府が出している「高齢化の状況」によると、令和5年10月1日現在、65歳以上人口の総人口に占める割合（高齢化率）は29.1%であり、20年後の2045年には36%に達し、国民の3人に1人以上が65歳以上となる社会が到来すると予測されています。また、それは非都市部でより顕著です。

医師国家試験合格者数は現在年間9,000人を超え、15年前の7,500人台より漸増しています。現行の医師臨床研修制度は、診療に従事しようとする医師に、2年以上指定する病院で初期研修を受けることを、平成16年度から義務づけました。それにより大学の医局ごとの研修から、適切な指導體制の下でプライマリ・ケアを中心に幅広く医師として必要な診療能力を効果的に身に付ける体制を目指しました。しかしその結果は、初期研修を受ける医師が都市部や特定の病院に集中し、後期研修もそのまま都市部にとどまるという状況が起っています。医師数は増加しているにもかかわらず、非都市部に多い自治体病院では、医師不足が顕著化しています。厚生労働省も医師偏在対策を検討していますが、有効な手段を講じられていないのが現状です。

そこで、今回の臨床医学分科会では、住民の健康を維持することにより、医療ニーズを減らすことを意図とした特別講演「疾患の予防」を1つ目に取り上げ、小児分野と成人分野に分けてお話ししていただきます。また、2つ目は、シンポジウム「地域（地方）における医師偏在対策」と題して、各自治体で行っている医師確保対策を御紹介いただき議論したいと考えています。

同じ問題を抱える自治体病院の問題解決のヒントになればと思いますので、多くの皆様方の御参加をお待ちしております。また、一般演題もポスターで広く募っていますので、よろしくお願ひします。

1. 特別講演【10月30日（木）14：00～15：00】

| | |
|-----------|---|
| テーマ | 『疾病の予防』 |
| 演者Ⅰ（小児分野） | 『新生児マススクリーニングの新たな潮流』 小林 弘典（島根大学医学部附属病院 検査部 講師） |
| 演者Ⅱ（成人分野） | 『健康寿命の自治体格差と関連要因』 横山 徹爾（国立保健医療科学院 生涯健康研究部長） |
| 座長 | 河崎 裕英（群馬県立小児医療センター 副院長） |

2. シンポジウム【10月30日（木）15：00～17：00】

| | |
|---------|-------------------------------|
| テーマ | 『地域（地方）における医師偏在対策』 |
| シンポジストⅠ | 神野 正博（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長） |
| シンポジストⅡ | 宮田 剛（岩手県立中央病院 病院長） |
| シンポジストⅢ | 大高めぐみ（茨城県保健医療部医療人材課 課長） |
| 座長 | 尾嶋 仁（群馬県立がんセンター 副院長） |

テーマ

『様々なニーズに対応する精神医療・精神保健活動』

群馬県立精神医療センター 院長
赤田 卓志朗



医学は古来より、病気を克服し命を救う・健康を取り戻すことを主題として歩み進んできたと思われま。反面、医学の進歩によって病気の詳細がわかることにより、現在の治療での限界点、および生命予後・余命も分かってきました。高齢化に伴い様々な疾患の罹患率も上がるにつれて、克服できない病気と闘い余命の見当もつく方も、残念ながら増えていくでしょう。病で辛い状態の中治療を行いながらも、残された人生をいかに苦しまず穏やかにその人らしく少しでも長く生きる、そのためのお手伝いをするには、病気を克服し命を救うことと同じくとても大事な医学のテーマと考えます。

そのような医療である緩和ケア医療を、WHOは「生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLを、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである。」と定義しています。その緩和ケア医療の中で、精神科医療は大きな部分を占めていると思われま。しかし、その重要性に反して緩和ケアに携わる精神科関係の医療者は決して多くないという課題があります。

当分科会の特別講演では、実際に第一線で働かれている先生と緩和ケアを目指し始めた先生からお話を頂きます。少しでも緩和ケアにご興味を持っていただける医療者が増える一助になれば幸甚です。

特別講演【10月31日（金）9：00～10：00】

| | |
|-----|--|
| テーマ | 『緩和ケアにおける精神医学の役割』 |
| 演者 | 間島 竹彦（国立病院機構 渋川医療センター 精神腫瘍科 緩和ケアセンター長） |
| 座長 | 中曽根拓也（群馬県立がんセンター 医長） |

テーマ

『病院薬剤師の現状と未来』

藤岡市国民健康保険鬼石病院 院長
工藤 通明



本来、医学と薬学は「車の両輪ともいふべき、極めて親密な学問の領域」であり、医と薬の教育と研究の推進充実を図ることは人類の福祉にかかわる緊急な課題であると考えられます。しかし現実には、本会薬剤分科会に参加した経験から考えると、病院薬剤師の熱心な意見交換の姿勢にもかかわらず、臨床現場での活動の難しさも実感しました。

私の出身大学である「富山医科薬科附属病院（現富山大学附属病院）」は、その名前が示すように医学関係者のみならず薬学関係者の臨床教育・研究の場として、医学部単独ではなく薬学部にも配慮した大学病院です。さらに西洋医学と東洋医学との双方の利点を診療に生かすための医療機関として「和漢薬研究所」も併設し、昭和54年10月に開院しました。以降40年以上にわたり病院薬剤師の育成を実践し、医と薬の協力を進めています。

医師は、専門分野の資格を取るため、10年以上の間、様々な病院での勤務と多くの指導者の指導によって専門医としての経験を積んでゆきますが、臨床医として十分である実績には至りません。現在でも、薬剤師の臨床教育・研究の場として、多くの自治体病院には様々な問題点があると思いますが、今後は各病院間で協力・指導体制を考えてゆく必要性もあり、このような病院薬剤師の育成は、薬剤師不足に直面している自治体病院にとって、人手不足を解消する手段の一つとなると考えます。

今回は各専門分野をお持ちの薬剤師の先生方から発表をいただき、それぞれの病院での取り組みを把握していただき、今後の薬剤師臨床研修の参考としていただきたいと思います。

1. 特別講演【10月30日（木）14:00～15:00】

| | |
|-----|---|
| テーマ | 『高齢者心不全の薬物治療の現状と課題』 |
| 演者 | 倉林 正彦（藤岡市国民健康保険鬼石病院 地域連携医療センター長 群馬大学 名誉教授） |
| 座長 | 小幡 輝夫（藤岡市国民健康保険鬼石病院 薬剤科 薬局長） |

2. シンポジウム【10月30日（木）15:00～17:00】

| | |
|---------|--|
| テーマ | 『病院薬剤師の現状と未来への可能性』 |
| シンポジストⅠ | 『未定』 小池 淳（桐生厚生総合病院 薬剤部） |
| シンポジストⅡ | 『当院における抗菌薬適正使用の取り組み』 金井 威（公立富岡総合病院 薬剤部） |
| シンポジストⅢ | 『当院におけるがん薬物療法認定薬剤師の役割～これまでの軌跡とこれから目指すもの～』 増野 貴司（公立藤岡総合病院 薬剤部） |
| 座長 | 神谷 輝彦（公立館林厚生病院 薬剤部長） |
| 座長 | 小幡 輝夫（藤岡市国民健康保険鬼石病院 薬剤科 薬局長） |
| コメンテーター | 中村 卓郎（高崎健康福祉大学薬学部 臨床病態学 教授） |

テーマ

『臨床検査技師のチカラ！～今、私たちにできること～』

伊勢崎市民病院 病院長
小林 裕幸



臨床検査は患者さんの診断や治療に欠かせない役割を担っています。今後マイナンバーカードの利用が進み検査結果が共有されるようになると、検査値の標準化や精度管理がさらに重要になるものと思われます。特別講演Ⅰでは、群馬大学医学部附属病院検査部部長の木村孝穂先生に、群馬県内の病院やクリニックでの検査値の標準化や精度管理についてお話しいただきます。

コロナ禍ではPCRをはじめとする検査で、臨床検査技師は感染症診療に大きく貢献しました。このようなパンデミックや自然災害などの非常事態において、臨床検査技師はどのように活躍すべきでしょうか。特別講演Ⅱでは、八戸市立市民病院救命救急センター参事の奥沢悦子先生に、ご自身の災害医療現場での経験から大規模災害にどう備えるべきかをご教示いただきます。

今後も感染症の流行は繰り返されます。感染制御の中核を担う臨床検査技師にとって、感染症をより深く理解することが重要だと思います。特別講演Ⅲでは、前橋赤十字病院感染症内科部長の林俊誠先生に、感染症専門医の立場から臨床検査技師に期待することをご講演いただきます。

本分科会が皆様の問題解決の一助となり、臨床検査技師の役割を多角的に探る機会になることを願っております。

1. 特別講演Ⅰ【10月31日（金）9：00～10：00】

| | |
|-----|---|
| テーマ | 『群馬県内における臨床検査値標準化への取り組み』 |
| 演者 | 木村 孝穂（群馬大学大学院医学系研究科 臨床検査医学 准教授 群馬大学医学部附属病院 検査部 部長） |
| 座長 | 梶田 幸夫（群馬県臨床検査技師会 会長 桐生厚生総合病院 医療技術部中央検査科 科長） |

2. 特別講演Ⅱ【10月31日（金）10：00～11：00】

| | |
|-----|---|
| テーマ | 『大規模災害（オールハザード）にどう備えるか』 |
| 演者 | 奥沢 悦子（日本臨床衛生検査技師会 理事 八戸市立市民病院 救命救急センター 参事） |
| 座長 | 石田 和美（公立富岡総合病院 技術部検査科 副技師長） |

3. 特別講演Ⅲ【10月31日（金）11：00～12：00】

| | |
|-----|--------------------------------|
| テーマ | 『感染症医が語る臨床検査技師への期待とグラム染色検査の魅力』 |
| 演者 | 林 俊誠（前橋赤十字病院 感染症内科 部長） |
| 座長 | 小林 裕幸（伊勢崎市民病院 病院長） |

テーマ

『タスク・シフト／シェアがもたらす放射線部門の光と影』



群馬県立小児医療センター 院長
浜島 昭人

画像診断機器や新たなイメージング、AI技術の画像診断への応用や遠隔画像診断における通信環境・システム構築の進化など、画像診断関連領域の最近の進歩には著しいものがあります。これらの中には診療放射線技師の業務の助けになるものもあれば、業務量の増加となるものもあります。

医療関係職種においては、医師の働き方改革に伴いタスク・シフト／シェアが推進されています。タスク・シフト／シェアにより診療放射線技師の業務範囲が拡大することになり、業務量は増加します。特に新たな業務となる「静脈路を確保する行為」である「静脈穿刺」は、最も侵襲的で困難な業務と考えられます。今回、この「静脈穿刺」に関するシンポジウムを企画しました。現場における診療放射線技師による「静脈穿刺」の現状を参加者で共有し、今後タスク・シフト／シェアを進めていくための課題について議論していただきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の流行を契機として遠隔診療が推進されてきました。画像診断に関してはそれ以前より遠隔画像診断が行われていますが、今後、病診連携、病病連携が進むことにより、放射線科医が充足していない地域などでは施設間での遠隔画像診断がより一層重要となります。特別講演では、病病連携を中心とした遠隔画像診断の有用性、問題点についてお話しさせていただきます。

多くの方々にご参加していただき、放射線部門の現状や問題点、そして今後の課題や目指すべき姿などに関して、熱く議論していただけることを心から期待しております。

1. 特別講演【10月30日（木）14：00～15：00】

| | |
|-----|---|
| テーマ | 『病病連携のための遠隔画像診断の有用性、問題点、診断に必要な高コントラスト画像の勧め』 |
| 演者 | 堀越 浩幸（群馬県立がんセンター 医療局長） |
| 座長 | 浜島 昭人（群馬県立小児医療センター 院長） |

2. シンポジウム【10月30日（木）15：00～17：00】

| | |
|---------|---------------------------|
| テーマ | 『静脈穿刺 現状共有と今後の課題について』 |
| シンポジストⅠ | 藤生 敦哉（桐生厚生総合病院 放射線技術科） |
| シンポジストⅡ | 佐藤 正規（群馬県立がんセンター 放射線診断課） |
| シンポジストⅢ | 高橋 雅彦（伊勢崎市民病院 中央放射線科） |
| シンポジストⅣ | 大屋 成之（群馬県立がんセンター 放射線診断医師） |
| 座長 | 奥村 晃由（公立館林厚生病院 中央放射線室 室長） |
| 座長 | 藤田 京子（公立富岡総合病院 放射線技術科技師長） |

テーマ

『健康の未来～腸内細菌の秘めたるチカラと可能性～』



公立碓氷病院 院長
三井 健揮

ヒトの腸管には約1000種、40兆個以上の腸内細菌が生息しています。近年、腸内細菌叢の研究は大きく進展し、認知症や炎症性腸疾患、消化器がんなど様々な疾患との関連や、ヒトの免疫機能への影響が明らかになってきており、「脳腸相関」の重要な役割を腸内細菌が担っていることも知られてきております。腸内細菌は普段の食生活、医学的理由による抗菌薬の投与、生活習慣などに影響され、心理的社会的ストレス等により修飾され、様々な病態が出現し、我々の健康に大きく関わってきております。

栄養分科会では、「健康の未来～腸内細菌の秘めたるチカラと可能性～」をテーマに、特別講演Ⅰでは八海醸造株式会社の倉橋敦先生から「麹甘酒のチカラ 麹菌の健康効果について」を、特別講演Ⅱでは和歌山県立医科大学名誉教授の重松隆先生から「便秘に克つ！ 腸の大事さ」を、特別講演Ⅲでは京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体免疫栄養学講座の内藤裕二先生から「人生100年時代の健康長寿対策を考える！ ～杉田玄白「養生七不可」を腸からひも解く～」をご講演いただくことになりました。腸の大事さ、腸内細菌の健康への影響に関して非常に興味深い演題ですので、有意義な議論ができればと願っております。

また、ポスターセッションには多数の皆様からの発表をお待ちしております。当日は魅力ある群馬県で皆様とお会いでき、活発な議論ができることを楽しみにしております。

1. 特別講演Ⅰ【10月30日（木）14：00～15：00】

| | |
|-----|------------------------|
| テーマ | 『麹甘酒のチカラ 麹菌の健康効果について』 |
| 演者 | 倉橋 敦（八海醸造株式会社 取締役製造部長） |
| 座長 | 上原 由美（公立碓氷病院栄養科 係長） |

2. 特別講演Ⅱ【10月30日（木）15：00～16：00】

| | |
|-----|------------------------------------|
| テーマ | 『便秘に克つ！ 腸の大事さ』 |
| 演者 | 重松 隆（独立行政法人りんくう総合医療センター 腎臓内科 主任部長） |
| 座長 | 三井 健揮（公立碓氷病院 院長） |

3. 特別講演Ⅲ【10月30日（木）16：00～17：00】

| | |
|-----|---|
| テーマ | 『人生100年時代の健康長寿対策を考える！～杉田玄白「養生七不可」を腸からひも解く～』 |
| 演者 | 内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授） |
| 座長 | 設楽 芳範（公立藤岡総合病院 院長） |

テーマ

『超高齢化社会を支えるリハビリテーション ～紡ぎ織りなす地域連携～』



公立七日市病院 院長
竹原 健

日本において少子高齢化が進んで久しいですが、コロナ禍以後は特に地方においてさらに拍車がかかっているようです。2025年には団塊の世代のすべてが後期高齢者となり、今後は2040年に向けて新たな地域医療構想が検討されています。

さて、群馬県においては、公共交通機関の利用率が2.8%と全国的に見ても圧倒的に低く、日常の足として自動車が欠かせない状況となっており、高齢者の自動車運転は大変重要です。そこで特別講演として高知大学医学部精神神経科学教室の上村直人先生に、認知症高齢者と自動車運転についてのご講演をいただきます。

また、今回の分科会のテーマは「超高齢化社会を支えるリハビリテーション～紡ぎ織りなす地域連携～」です。

高齢者は様々の疾患に罹患していることが多く、認知機能、身体機能の低下も進んでフレイルとなり、一度入院すると急激にADLの低下を起しやすいため状況となります。このために早期にリハビリテーションを介入して、機能回復をすることが必要です。そこで地域連携によりリハビリテーション資源を充実させて効率的に運用することが望まれます。今回のシンポジウムには田中康之先生、山口智晴先生、黒羽真美先生にシンポジストをお願いして、超高齢化社会を支えるリハビリテーションについて討論していきたいと存じます。皆様のお越しをお待ちしております。

1. 特別講演【10月31日（金）9：00～10：00】

| | |
|-----|-----------------------------|
| テーマ | 『認知症と自動車運転—近未来への対応と地域社会的課題』 |
| 演者 | 上村 直人（高知大学医学部 神経精神科学教室 准教授） |
| 座長 | 竹原 健（公立七日市病院 院長） |

2. シンポジウム【10月31日（金）10：00～12：00】

| | |
|---------|-----------------------------------|
| テーマ | 『超高齢化社会を支えるリハビリテーション～紡ぎ織りなす地域連携～』 |
| シンポジストⅠ | 田中 康之（千葉県千葉リハビリセンター 地域支援センター長） |
| シンポジストⅡ | 山口 智晴（群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 副学部長） |
| シンポジストⅢ | 黒羽 真美（一般社団法人日本言語聴覚士協会 副会長） |
| 座長 | 山上 徹也（群馬大学大学院 保健学研究科 教授） |
| 座長 | 渡辺 真樹（公立七日市病院 リハビリテーション技術科 技師長） |

テーマ

『その先の可能性を広げよう～次へ繋げるために～』

公立富岡総合病院 院長
宮崎 増美



コロナ禍でECMOや人工呼吸が取り上げられて、臨床工学技士（CE）という職種が一般の人に知られるようになりました。病院では、医療機器の管理と専門的な提案で、各部署の横のつながりの要となり、チーム医療における立ち位置を構築してきました。

医療業界のニーズもあり、2021年の法律の一部改正によってCEの業務範囲は大幅に拡大され、特に手術室や集中治療室での治療支援や鏡視下手術におけるカメラ助手業務、麻酔アシスタント業務など新たな役割を担うことができるようになりました。医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト、看護師の負担軽減を進めるためのタスク・シフトを推進する上で、CEこそが適任であると任された業務だと思えます。

2025年は団塊の世代がすべて後期高齢者になり、医療の需要にも変化が出てきています。多くのCEが活躍している急性期医療病院は、機能分化や集約化に直面することになりそうです。

また、多くの自治体病院も在宅医療に携わることになるでしょう。現時点でCEは、在宅透析療法や在宅呼吸療法などに携わっています。また、埋め込み型心臓デバイスのリモート管理等にも携わっています。将来は、人工知能が搭載された医療機器の普及によって、在宅医療は更に充実していくでしょう。

このような背景をもとに、今回の臨床工学分科会ではCEの更なる可能性と将来像を考えたいと思います。現状を確認し、CEはどのような存在になっていくべきか、何を期待されているのか、そして将来に向けての想いを議論したいと思います。

CEの皆さんは勿論、CE以外の職種の方も是非お立ち寄りください。お待ちしております。

1. 特別講演【10月31日（金）9：00～10：00】

| | |
|-----|----------------------|
| テーマ | 『臨床工学技士の多職種連携』 |
| 演者 | 齋藤 繁（群馬大学医学部附属病院 院長） |
| 座長 | 宮崎 増美（公立富岡総合病院 院長） |

2. シンポジウム【10月31日（金）10：00～12：00】

| | |
|---------|---|
| テーマ | 『いま、地域医療を支えて進む～そして、これからを考える～』 |
| シンポジストⅠ | 今井 千里（公立富岡総合病院 臨床工学科 主任）—腹膜透析 |
| シンポジストⅡ | 深沢 智幸（山梨県立中央病院 臨床工学科 主任臨床工学技士）—ロボット手術 |
| シンポジストⅢ | 脇田亜由美（一宮市民病院 臨床工学室 主査）—埋込型心臓デバイス・補助人工心臓 |
| シンポジストⅣ | 春田 良雄（公立陶生病院 臨床工学部 技師長）—在宅呼吸 |
| 座長 | 宇津木 徹（公立藤岡総合病院 臨床工学室 室長） |
| 座長 | 中嶋 勉（群馬県立心臓血管センター 臨床工学課 課長） |

テーマ

『地域医療の中核としての自治体病院を守り育てる』

邑楽館林医療企業団 企業長
新井 昌史



自治体病院は、1948年の国民健康保険の市町村公営主義採択により、医療過疎地域でも、誰でもいつでもアクセスできる医療機関として制度設計されました。その結果、民間が病床数の7割を占める日本で、救急医療や僻地医療、採算性の低い診療科など、民間まかせでは不採算になり偏在しがちな医療を補完し、社会の隅々まで切れ目のない医療を提供するという重要な役割を果たしてきました。しかし、右肩上がりのGDP成長が止まり、高齢者が急増しはじめた2000年以降は、もともと採算性の低い医療を担当している自治体病院の経営に対して厳しい目が向けられるようになりました。自治体病院が今後も地域医療の中核としての誇りある役割を担うためには、厚労省の「地域医療構想」や総務省の「公立病院経営強化プラン」などを待つことなく、我々自身で経営的視点をもって、病院管理を変革することが不可欠です。

本分科会では、特別講演の谷田先生に、自治体病院の社会的役割、存在意義についてお話しいただく予定です。そして、第2部のシンポジウムでは、「経営が良くなければ良い医療はできない」との考えのもと、自治体病院自らが経営を改善させるための処方箋を、医師（病院管理者）、看護師、事務の視点から各シンポジストにお話しいただき、木村先生のナビゲートのもと、分科会参加者も交えて一緒に考えたいと思います。

1. 特別講演【10月30日（木）14：00～15：00】

| | |
|-----|--------------------------|
| テーマ | 『公立病院必要論…現実とファンタジーの狭間で！』 |
| 演者 | 谷田 一久（東京都立大学 客員教授） |
| 座長 | 新井 昌史（邑楽館林医療企業団 企業長） |

2. シンポジウム【10月30日（木）15：00～17：00】

| | |
|---------|---|
| テーマ | 『自治体病院の生き残りをかけて』 |
| 基調講演 | 木村 憲洋（高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科 教授） |
| シンポジストⅠ | 『変わりゆく病院経営（経営的視点より）』 醍醐 象器（東京医科大学病院 事務部長） |
| シンポジストⅡ | 『一中小規模自治体病院— 目指せ、なくてはならない病院を！』 岡田 節雄（坂出市病院事業管理者 兼 坂出市立病院長） |
| シンポジストⅢ | 『看護部門としてのあり方』 坂本 すが（東京医療保健大学 副学長、元日本看護協会 会長） |
| 座長 | 木村 憲洋（高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科 教授） |

3. 医療の質・医療安全指標の評価・公表等推進事業シンポジウム【10月30日（木）15：30～17：00】

4. 医師事務作業補助者の活用に関するシンポジウム（仮称）【10月31日（金）9：00～11：00】

テーマ

『力あわせる医療の砦 ～地域に寄り添った連携～』



公立藤岡総合病院 院長
設楽 芳範

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けられるよう、各地域で地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、多くの課題を抱えております。自治体病院は地域医療の最後の砦として、地域医療構想、医師の働き方改革、感染症対策等の課題について、多職種が連携し、力を合わせて地域医療を守っていかねばなりません。

地域医療・連携・福祉分科会では、「力あわせる医療の砦～地域に寄り添った連携～」をテーマとさせていただきます。特別講演では、「自治体病院の地域における役割と対応」と題し、高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科教授の木村憲洋先生に地域の医療機関や介護サービスに対する自治体病院の役割についてご講演いただきます。シンポジウムでは、「身寄りのない人の支援について」をテーマに、各地域のそれぞれの分野でご活躍されている方々をお招きし、身寄りがない人や家族の支援が得られない人などの入院、療養、退院後の支援を通して直面する様々な課題に対する支援や連携のあり方について議論を深めていただきたいと思います。

多くの皆さまのご参加と活発な討論を期待しております。

1. 特別講演【10月31日（金）9：00～10：00】

| | |
|-----|----------------------------------|
| テーマ | 『自治体病院の地域における役割と対応』 |
| 演者 | 木村 憲洋（高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科 教授） |
| 座長 | 設楽 芳範（公立藤岡総合病院 病院長） |

2. シンポジウム【10月31日（金）10：00～12：00】

| | |
|---------|----------------------------------|
| テーマ | 『身寄りのない人の支援について』 |
| シンポジストⅠ | 佐藤 直樹（社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会 地域福祉課長） |
| シンポジストⅡ | 野田 智子（JA愛知厚生連 江南厚生病院 患者支援室長） |
| シンポジストⅢ | 板橋 俊幸（弁護士法人龍馬おおた事務所 弁護士） |
| シンポジストⅣ | 安藤 亨（豊田市福祉部よりそい支援課 地域共生・社会参加担当長） |
| 座長 | 山下 均（下仁田厚生病院 病院長） |
| 座長 | 渡部登志雄（公立藤岡総合病院 副院長） |

テーマ

『様々なニーズに対応する精神医療・精神保健活動』

群馬県立精神医療センター 院長
赤田 卓志朗



国は「地域包括ケアシステム」という、疾患や障害を持つ方でも住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域で支え合うシステム構築を目指しています。さらには、疾患や障害を持たない方のメンタルヘルスニーズにも対応するように、令和4年に精神保健福祉法を改正しメンタルヘルスニーズの対象を拡大しました。このように国はメンタルヘルスに対するハード面の強化をしていますが、ソフト面はどうでしょうか。

現在日本は少子高齢化社会に突入しています。一例として当県の現状を示しますと、郷土のカルタである上毛かるたに「力あわせる〇〇万」という読み札があるのですが、平成5年より「力あわせる200万」であったこの札が、群馬県の人口減少に伴って令和6年に「190万」に変更されました。そしてその人口減少は、都市部ではなく中山間等の元々人口が少ない地域で、より深刻な状況になっていると聞きます。中山間等の人口減少地域は医療・福祉の相談窓口も乏しく、地域で支え合うシステムの構築が難しい面があります。人口減少地域ではどのようなメンタル面での問題が生じており、どのようなニーズが必要とされるかを検討することが、今後のシステム構築に重要な示唆を与えてくれるものと考えます。

今回は、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 小池純子先生、石川県立こころの病院 北村立先生のご支援を得て、この問題をテーマにしたシンポジウムを開催できることとなりました。是非とも多くの方にご参加いただき、色々な意見を頂ければと思います。

シンポジウム【10月31日（金）10：00～12：00】

| | |
|---------|---|
| テーマ | 『中山間等人口減少地域に必要とされるメンタルヘルス』 |
| シンポジストⅠ | 栃本 真一（公立能登総合病院 精神科精神センター長） |
| シンポジストⅡ | 小池 純子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部 司法精神保健研究室長） |
| | 菅谷 涼（自治医科大学附属病院 助教） |
| シンポジストⅢ | 本間 稔宏（福島県立ふくしま医療センターこころの杜 医長） |
| シンポジストⅣ | 藤平 和吉（利根中央病院 精神神経科科長） |
| 座長 | 杉田 義博（地域医療振興会日光市民病院 管理者） |
| 座長 | 芦名 孝一（群馬県立精神医療センター 副院長） |

第63回全国自治体病院学会は、当日、皆様にスムーズにお越しいただけるよう事前参加登録をご用意しております。システムにて、簡単にお申込ができるようになっております。学会当日の混雑を避けるため、できるだけ事前参加登録をご利用いただきますようお願い申し上げます。

1. 事前参加登録受付期間

2025年4月7日(月)～8月29日(金)



2. 参加登録費・申込区分

※旅行契約に該当しません

参加費及び参加申込区分

| 参加種別 | 事前登録 | 当日登録 |
|-----------|---|------------------------------------|
| 期 間 | 4月7日(月)～8月29日(金) | 10月30日(木)・10月31日(金) |
| 種 別 | 一般(団体登録可能) | 一般 |
| 学会参加費 | 12,000円(不課税) プログラム・抄録集代含む | 13,000円(不課税) プログラム・抄録集代含む |
| 交流会参加費 | 6,000円(税込) | 申込不可 |
| ランチョンセミナー | 申込可 無料 | 申込不可 |
| 申込方法 | HPからのオンライン登録 | 現地(Gメッセ群馬) |
| 支払方法 | クレジット・銀行振込 | 現金のみ |
| 事前送付物 | ①参加証兼領収証 ②プログラム・抄録集 ③ランチョンセミナーチケット(申込の方のみ) ④交流会参加証(申込の方のみ) | なし |
| 当日会場での受付 | 不要 | 申込書記入、参加費納入、参加証・領収証発行、プログラム・抄録集等受取 |

※学会参加費・交流会会費については大会事務局からの依頼に基づき、東武トップツアーズ(株)高崎支店が代行收受を行います。また、ランチョンセミナーについては、代行受付を行います。

【団体登録について(一般)】

- ・同一病院・施設内の複数名分の学会参加・交流会のお申し込みをまとめて登録することができます。
- ・団体登録は、登録者の中から1名代表者(連絡担当者)を決定して代表者の方が登録してください。
ご参加されない方を代表者(連絡担当者)にすることはできませんのでご注意ください。
代表者(連絡担当者)を通じて一括登録、一括入金、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
- ・団体登録の各個人宛への個別送付は、対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
- ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

【学生の参加について】

- ・学生（大学、看護・医療系専門学校の学生、初期研修医）の参加は無料です。
- ・学生の参加にあたっては、事前に学校単位での登録（団体登録）をお願いします。
団体登録は、1学校につき1名の教員を代表参加者としてお申し込みください。
教員の代表参加者は一般参加者と同様に有料となります。代表参加者を通じて参加証の一括発送をさせていただきます。
- ・学生が個人で参加される場合は、当日登録のみとなります。
- ・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円（不課税）で販売いたします。
- ・学生は、ランチョンセミナー、交流会の参加申込はできません。
- ・代表参加者はランチョンセミナーへの参加、また、交流会についても、一般参加者と同様、6,000円でご参加いただけます。

3. 交流会（要事前参加登録）

| | |
|-----|--|
| 日時 | 10月30日（木）18：00～20：00（予定） |
| 会場 | Gメッセ群馬 展示ホールA 〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12番24号 TEL：027-322-2100 |
| 参加費 | 6,000円（税込） |

※定員により申し込みを締め切らせていただく場合がございますので予めご了承ください。

※交流会参加証をお持ちでない方は、会場にお入りいただけません。

4. 参加申込方法

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込みURL <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/jmha63/>



- ・受付開始、締切日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・参加者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかどうかを必ずご確認ください。

5. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。

※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |

6. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- (1) 本学会ホームページの「参加登録」から案内に従ってご登録ください。
- (2) 事前参加登録完了後、登録されたメールアドレスに登録内容が配信されます。(個人情報設定で各確認メール配信を通知しない設定にした場合は配信されませんのでご注意ください。)

・返信がない場合

- 1) メールアドレスの誤入力と考えられます。
 - 2) 迷惑メール等のフォルダに入っていないかをご確認ください。*ご自身のPCの設定をご確認ください。
 - 3) 上記を確認して24時間経過しても届かない場合は、オフィシャル・トラベルエージェント (P.4) までご連絡ください。
- ・他者と同じE-mail アドレスの使用はおやめください。
 - ・携帯アドレスもご利用しないでください。
- (3) 申込内容変更・取消について
受付締切日 (8月29日) まではWEB上で変更できます。ご自身で操作をお願いいたします。

(4) お支払方法

クレジットカード決済・銀行振込からお選びいただけます。
詳しくは本学会ホームページにてご確認ください。

振込期限：2025年9月9日(火)

ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。

期日までにご入金を確認できない場合、事前参加登録が取消となり、当日登録をしていただくこととなりますので、ご注意ください。

※お振込みはご登録後なるべくお早めをお願いいたします。

(5) 請求書

請求書はシステム上で発行できますのでご自身で操作してください。
事務局では請求書の発行はいたしません。

(6) 送付物

事前参加登録をされた方には、入金確認後、10月上旬(予定)に申込者(代表者)宛に以下の物をご送付いたします。

- ①参加証兼領収証
- ②プログラム・抄録集
- ③ランチョンセミナーチケット (※お申込みいただいた方のみ)
- ④交流会参加証 (※お申し込みいただいた方のみ)

【当日参加登録】

Gメッセ群馬2階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。
参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けます。

7. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。

受付締切日（8月29日）まではWEB上で変更できます。ご自身で操作してください。

※お電話およびFAXでの変更・取消は、受け付けいたしません。

| 取消期間 | 学会参加費 | 交流会参加費 | 備考 |
|--------------|-------|--------|-------------------|
| 2025年8月29日まで | 取消料なし | 取消料なし | プログラム・抄録集等は送付しません |
| 2025年8月30日以降 | 参加費全額 | 参加費全額 | プログラム・抄録集等は送付します |

8. ランチョンセミナーについて

当日昼食をご用意しております。フードロス削減のためランチョンセミナーは事前予約制となります。

詳細はランチョンセミナープログラム決定後、本学会ホームページにてご案内します。

※参加登録完了後もお申し込みいただけます。

※人数に限りがございますので、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

※旅行契約には該当しません。

開催日時：10月30日（木）12：30～13：30／10月31日（金）12：30～13：30



9. 託児所について

本学会では託児所の用意はございません。

10. シャトルバスの運行について

会期中は高崎駅⇄Gメッセ群馬の直行シャトルバスを運行予定です。

運行スケジュール等詳細は、10月上旬（予定）に最終案内にてご案内いたします。

11. 参加登録・お問合せ

東武トップツアーズ株式会社高崎支店

「第63回全国自治体病院学会in群馬」担当

〒380-0828 群馬県高崎市宮元町212 高崎宮元町ビル9階

TEL：050-9001-8731 FAX：027-325-3913

お問合せ専用ダイヤル：070-1772-7852

E-mail：jmha63@tobutoptours.co.jp

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 9：30～17：30（土日祝は休業）

一般演題(ポスターセッション)を公募いたします。多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

2025年4月7日(月)～6月13日(金)

1. 発表形式

ポスター発表(発表5分、質疑応答2分)

本学会では、一般演題はすべて「紙ポスター」での発表となります。

会場では、紙ポスターを閲覧用として掲示していただき、発表、質疑応答を行います。

ポスターは2日間通して掲示していただきます。貼り替えはありません。

2. 申し込み方法

演題発表の申し込みはすべてオンライン演題登録にて受け付けます。

登録された演題は、申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

演題登録URL <https://www.c-linkage.co.jp/63jmha/abstract/index.html>

【注意事項】

- (1) 演題発表の申し込みをされる方は、必ず事前参加登録の申し込みをしてください。
- (2) 締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- (3) 応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。
「本登録ボタン」を押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- (4) 演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。
ご希望に沿えない場合もございますが、ご了承ください。

【重要】

Webメール(Gmail・Yahoo!メール等)でご登録を予定している方へ

連絡先メールアドレスにGmail・Yahoo!メール等のWebメールを登録されている場合、スパムメールと認識され、登録完了メールや採択通知メールが届かない事例が多く発生しております。

Gmail・Yahoo!メール以外のメールアドレスにてご登録いただくか、登録完了後に確認・修正画面からログインいただき、演題の登録が行われていることをご確認ください。

登録完了メールが届かない場合は、「確認・修正画面」からログインいただき、演題の登録が行われていることをご確認ください。

【優秀演題、最優秀演題について】

応募いただいた演題から優秀演題を選考いたします。

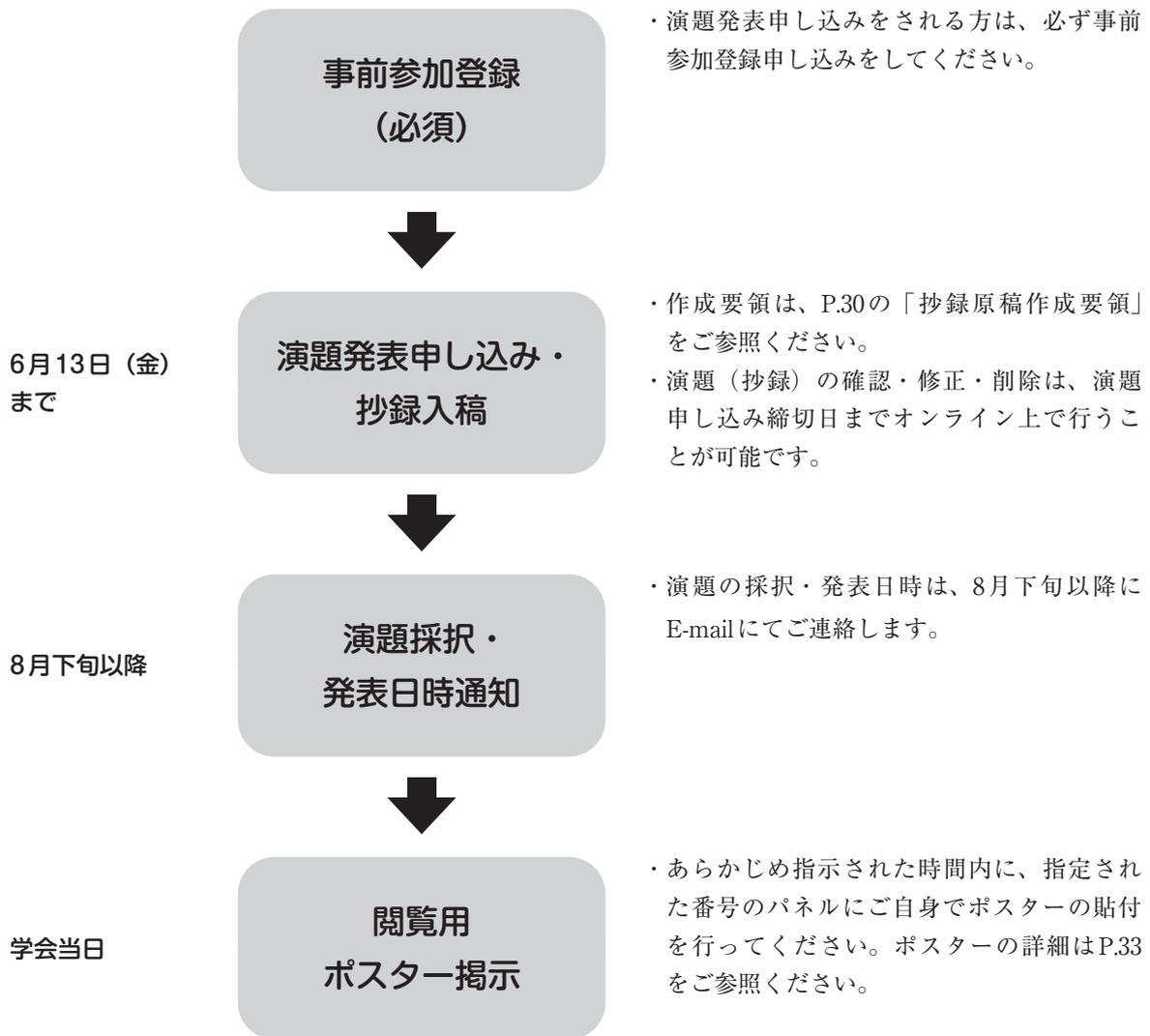
優秀演題の中から最優秀者数名を次期学会の席上で表彰いたします。また、次期学会において演題を発表していただきます。奮ってご応募ください。

〔優秀演題選考基準〕

- ・病院あるいは地域医療に対する貢献度が高いと認められるもの
- ・創意工夫が認められるもの
- ・学問的に優れていると認められるもの
- ・口演(態度、発声、時間の使い方、ポスターなど)が優れているもの

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※ポスターセッションについては、P.32にも記載しておりますので、ご参照ください。
 ※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



演題発表時における利益相反 (COI) の開示について

- ・ポスター発表の筆頭演者は、演題発表時に発表演題に関係する企業などとのCOI状態の開示が必要です。利益相反の有無についてご用意の上、掲示用ポスターパネル上に開示してください。
- ・COI掲示の様式例はホームページよりダウンロードしてご利用ください。

例1) 開示すべき事項がない場合のCOI開示例

第63回全国自治体病院学会
利益相反の開示
 筆頭発表者名: ○○ ○○

私は今回の演題に関連して、
 開示すべき利益相反はありません。

例2) 開示すべき事項がある場合のCOI開示例

第63回全国自治体病院学会
利益相反の開示
 筆頭発表者名: ○○ ○○

私の今回の演題に関連して、
 開示すべき利益相反は以下のとおりです。

| | |
|-----------|----------|
| ① 職務 | なし |
| ② 株式会社・利益 | なし |
| ③ 特許権使用料 | なし |
| ④ 講演料 | なし |
| ⑤ 原稿料 | なし |
| ⑥ 研究費 | ○の製薬 |
| ⑦ 医学寄付金 | ○の製薬 |
| ⑧ 寄付講座所属 | あり (○製薬) |
| ⑨ 贈答品など | なし |

4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A：看護・看護教育分科会

| | | |
|------------|-----------|-------------|
| A-1 急性期看護 | A-2 がん看護 | A-3 救急看護 |
| A-4 災害看護 | A-5 看護管理 | A-6 情報管理・DX |
| A-7 外来看護 | A-8 認知症看護 | A-9 精神看護 |
| A-10 在宅看護 | A-11 小児看護 | A-12 母性看護 |
| A-13 慢性期看護 | A-14 看護教育 | A-15 看護業務改善 |
| A-16 感染管理 | A-17 医療安全 | A-18 チーム医療 |
| A-19 看護倫理 | | |

B：臨床医学分科会

| | | |
|---------------|----------------------|--------------|
| B-1 感染症 | B-2 専門医制度 | B-3 医師の働き方改革 |
| B-4 医療安全・医療の質 | B-5 医療連携(地域連携・チーム医療) | B-6 災害時医療 |
| B-7 医療とDX | B-8 遺伝医療 | B-9 その他 |

C：薬剤分科会

| | | |
|-----------------|-------------|--------------|
| C-1 医薬品調整 | C-2 医薬品管理 | C-3 医薬品情報 |
| C-4 医療安全 | C-5 薬物治療 | C-6 がん化学療法 |
| C-7 抗菌化学療法・感染制御 | C-8 精神科領域 | C-9 チーム医療 |
| C-10 薬剤管理指導 | C-11 病棟薬剤業務 | C-12 医療経済 |
| C-13 薬薬連携 | C-14 教育研究 | C-15 治験・臨床試験 |
| C-16 経営 | C-17 その他 | |

D：臨床検査分科会

| | | |
|-----------|------------|----------|
| D-1 管理・運営 | D-2 輸血 | D-3 免疫 |
| D-4 生化学 | D-5 血液 | D-6 一般 |
| D-7 病理 | D-8 細胞診 | D-9 微生物 |
| D-10 生理 | D-11 チーム医療 | D-12 その他 |

E：放射線分科会

| | | |
|-----------------|-----------|------------|
| E-1 X線撮影 | E-2 CT検査 | E-3 MRI検査 |
| E-4 血管撮影 | E-5 核医学検査 | E-6 放射線治療 |
| E-7 タスク・シフト/シェア | E-8 放射線管理 | E-9 医療情報管理 |
| E-10 医療安全 | E-11 STAT | E-12 教育 |
| E-13 その他 | | |

F：栄養分科会

| | | |
|--------------|-------------|-------------|
| F-1 病態別栄養管理 | F-2 がん・緩和 | F-3 摂食・嚥下障害 |
| F-4 周術期栄養管理 | F-5 早期栄養介入 | F-6 リハ栄養 |
| F-7 栄養食事指導 | F-8 災害時栄養管理 | F-9 腸内環境 |
| F-10 地域連携・在宅 | F-11 チーム医療 | F-12 給食管理 |
| F-13 その他 | | |

G：リハビリテーション分科会

| | | |
|-------------|-------------|---------------|
| G-1 管理・運営 | G-2 調査・統計 | G-3 高次脳機能障害 |
| G-4 神経系疾患 | G-5 内部障害 | G-6 骨関節系疾患 |
| G-7 がんリハビリ | G-8 摂食・嚥下 | G-9 生活環境支援 |
| G-10 小児リハビリ | G-11 地域リハビリ | G-12 ロボットリハビリ |
| G-13 その他 | | |

H：臨床工学分科会

| | | |
|------------|--------|---------|
| H-1 呼吸 | H-2 循環 | H-3 代謝 |
| H-4 医療機器管理 | H-5 手術 | H-6 その他 |

I：経営・管理分科会

| | | |
|-------------|------------|------------|
| I-1 病院経営 | I-2 運営管理 | I-3 情報システム |
| I-4 診療情報管理 | I-5 医療の質管理 | I-6 患者サービス |
| I-7 人材確保・育成 | I-8 その他 | |

J：地域医療・連携・福祉分科会

| | | |
|-----------------|-----------------------|----------------------|
| J-1 入退院支援・入退院調整 | J-2 地域医療ネットワーク(ヒューマン) | J-3 地域医療ネットワーク (ICT) |
| J-4 がん相談・支援 | J-5 地域包括ケア・在宅医療 | J-6 地域・住民との連携 |
| J-7 ソーシャルワーク実践 | J-8 チーム医療 | J-9 その他 |

- (2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名（演題発表者を含む）としてください。
- (3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。
- (4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめてください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- (5) 抄録本文は全角1,000文字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
図表を登録する場合、抄録本文の文字数は670文字以内となりますのでご注意ください。
- (6) 抄録本文作成上の注意
 - ・抄録本文は、最初にご自身のPCのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。
 - ・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ

株式会社コンベンションリンクージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693

E-mail：jmha63@c-linkage.co.jp

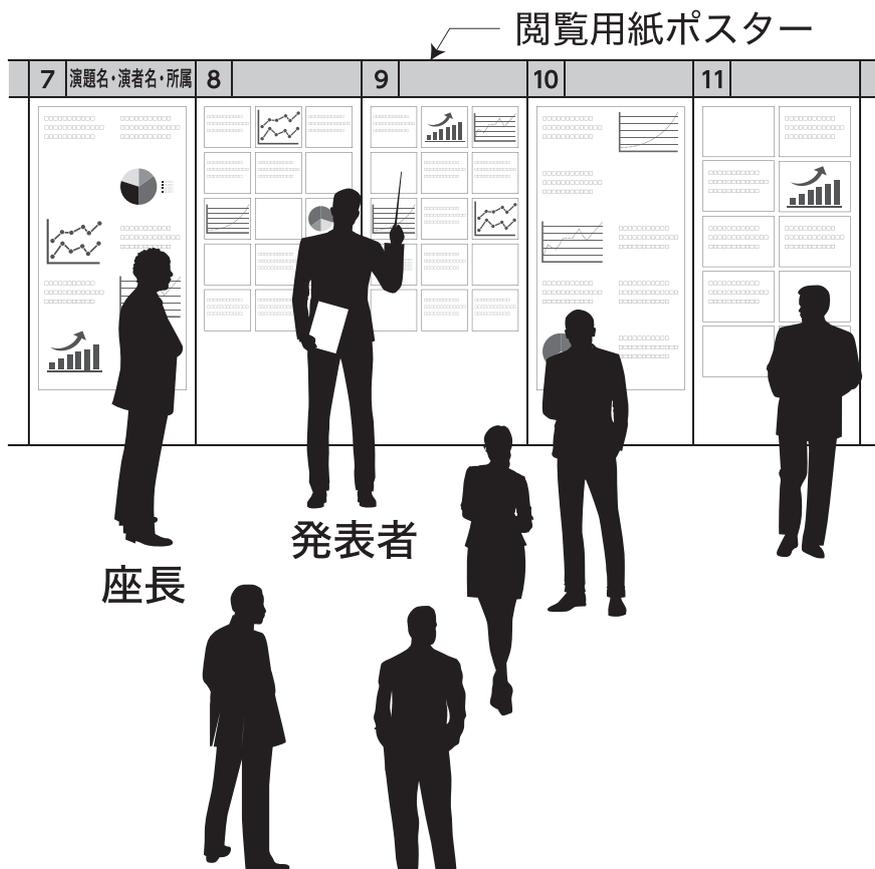
〈お問い合わせ受付時間〉月曜～金曜 9：30～17：30（土日祝は休業）

1. 発表形式について

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

発表者は会期中の所定の時間帯に、会場内のご自身のポスター前にお立ちいただき、座長の指示により発表・質疑応答を行います。

ポスターセッション閲覧イメージ（ポスターは2日間通して掲示。貼り替えはありません。）



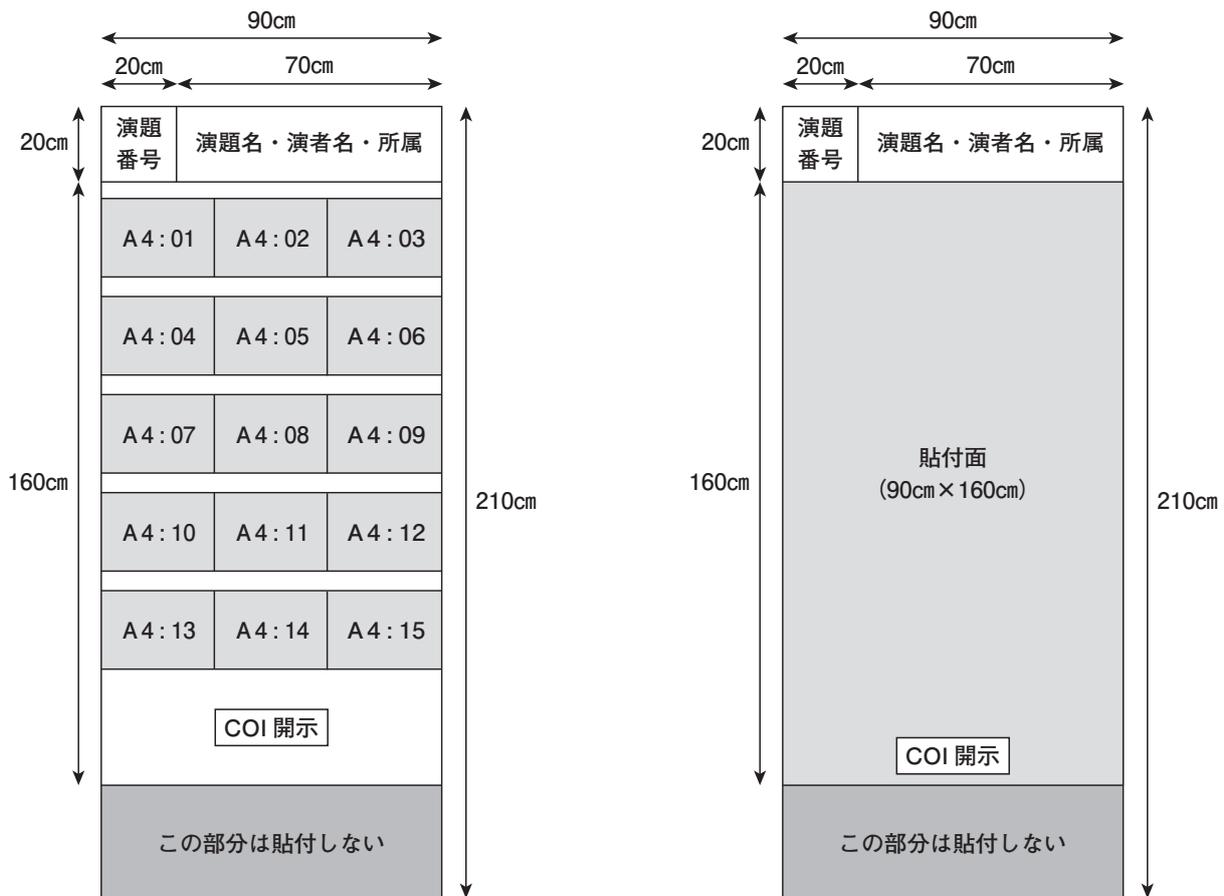
本学会ではポスターの印刷から貼り付け、撤去まで行う「手荷物いらずパック」サービスをご用意いたします。（有料）

サービスのご利用をご検討の場合、本学会ホームページで詳細（2025年8月発表予定）をご確認いただけますようお願い申し上げます。

2. 閲覧用 紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- *ポスターは2日間通して掲示していただきます。貼り替えはありません。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスターパネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、事務局で用意いたしますので、その右側（横70cm×縦20cm）に演題名・演者名・所属を表示してください。
- ・ポスターは横90cm×縦160cmで作成してください。A3で作成の場合は10枚、A4で作成の場合は15枚程度となります。
- ※ポスターパネルの詳細については、本学会ホームページをご参照ください。

宿泊のご案内

この度「第63回全国自治体病院学会」にご参加されます皆様方のご宿泊の予約を、東武トップツアーズ株式会社高崎支店にて受付させていただきます。つきましては、下記のご案内をご一読いただき、お申込みくださいますようお願いいたします。本学会に参加されます皆様方のお申し込みをお待ちしております。

1. 宿泊申込期間

2025年4月7日(月)～8月29日(金)



※申込ページに掲載の旅行条件書をご確認の上、お申し込みください。

2. 宿泊のご案内

宿泊日 2025年10月30日(木)

旅行代金 1泊朝食付(税金・サービス料込)のおひとり様あたりの金額です。

セントラルホテル高崎、ホテル1-2-3高崎、ホテルルートイン高崎駅西口、東横イン高崎駅西口1、東横イン高崎駅西口2の朝食は、施設による無料サービスです。

| No | 宿泊ホテル名 | 旅行(宿泊)代金/部屋タイプ | | | |
|----|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| | | シングル | ツイン (2名利用) | ツイン (1名利用) | ダブル (1名利用) |
| ① | ホテルグランビュー高崎 | 17,600円 | — | — | — |
| ② | 高崎ワシントンホテルプラザ | 16,100円 | — | — | — |
| ③ | 高崎アーバンホテル | 10,000円 | 10,000円 | 14,730円 | — |
| ④ | セントラルホテル高崎 | 11,100円 | — | — | — |
| ⑤ | 榛名の湯 ドーミーイン高崎 | 15,900円 | — | — | — |
| ⑥ | ハリスホテルWEST | 10,000円 | 10,000円 | 13,800円 | — |
| ⑦ | ホテル1-2-3高崎 | 13,600円 | 12,600円 | 14,600円 | — |
| ⑧ | ホテルルートイン高崎駅西口 | 10,000円 | 10,000円 | 11,600円 | — |
| ⑨ | パークイン高崎 | 9,600円 | — | — | — |
| ⑩ | 東横イン高崎駅西口1 | 9,900円 | 13,200円 | 13,750円 | 12,100円 |
| ⑪ | 東横イン高崎駅西口2 | 9,900円 | 13,200円 | 13,750円 | 12,100円 |

※本プランは東武トップツアーズ株式会社との募集型企画旅行契約となります。

※最少催行人員：1名

※添乗員：同行いたしません

(旅行サービスを受けるために必要な確認書類をお渡しいたしますので、手続きはお客様ご自身で行っていただきます。)

ホテル予約マップ

地図中の①～⑪が下記よりご予約いただけます。



3. 宿泊申込方法

宿泊申込は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込みURL <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/jmha63/>

4. 取消料

ご参加者様の都合により、宿泊をお取消される場合は、下記の取消料を申し受けます。

| 取消日（旅行開始日の前日から起算して） | 取消料 |
|---------------------|-----------|
| (1) 8日目まで | 無料 |
| (2) 7日目～2日目 | 旅行代金の20% |
| (3) 旅行開始日前日 | 旅行代金の40% |
| (4) 旅行開始日当日（旅行開始前） | 旅行代金の50% |
| (5) 旅行開始後または無連絡不参加 | 旅行代金の100% |

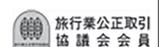
※ご宿泊当日13時までに取消の連絡がない場合は無連絡不参加として取り扱い、100%の取消料を申し受けます。



5. 宿泊予約お問合せ

「第63回全国自治体病院学会」
お問合せ専用ダイヤル：070-1772-7852
E-mail：jmha63@tobutoptours.co.jp
営業時間：月曜～金曜 9：30～17：30
（土日祝は休業）
担当：西方・山田

【旅行企画・実施】
観光庁長官登録旅行業第38号
JATA正会員ボンド保証会員
東武トップツアーズ株式会社高崎支店
〒370-0828 群馬県高崎市宮元町212
高崎宮元町ビル9階
Tel：050-9001-8731 Fax：027-325-3913
営業時間：月曜～金曜 9：30～17：30
（土日祝は休業）
〔担当者〕西方・山田
総合旅行業務取扱管理者 伊藤 大輔
客国25-048



エクスカーションのご案内

第63回全国自治体病院学会専用のエクスカーションをご用意させていただきました。

いずれも、群馬の魅力をご堪能いただける本学会特別ツアーとなっております。

皆様のお申込みをお待ちしております。なお、お申込みは、本学会ホームページからお願いいたします。

※今後、訪問施設の受け入れ状況などにより行程が変更になる場合がございます。最新情報はホームページをご確認ください。

申込期間

2025年4月7日(月)～8月29日(金)



※申込ページに掲載の旅行条件書をご確認の上、お申し込みください。

A：11月1日発／日帰り 世界遺産富岡製糸場とこんにゃくパークの工場見学ツアー

| | |
|--------------|-------------------------|
| 旅行期日 | 2025年11月1日(土) |
| 旅行代金 | お一人様8,000円(税込) |
| 募集人員 | 40名(最少催行人員30名) |
| 添乗員 | 同行いたします |
| 旅行代金に含まれるもの | バス代、見学科、昼食代、添乗員費用、乗務員費用 |
| 旅行代金に含まれないもの | 飲食代等個人的な費用 |
| 利用バス会社 | 群馬バスまたは多野観光バスまたは群馬中央バス |

日本の近代化を支えた世界遺産「富岡製糸場」をはじめ、群馬を代表する特産物こんにゃくを存分に味わえる「こんにゃくパーク」、織田信長直系の子孫が築いた大名庭園「楽山園」など、群馬県西部を代表する観光地を巡るコースです。昼食は郷土料理「おきりこみ」で、隠れた小麦の産地である群馬の味覚をご堪能いただけます。

行程

| 日付 | 行程 |
|----------|--|
| 11月1日(土) | <p>高崎駅 9:30 ◎案内人付見学 富岡製糸場 11:30 名物:おきりこみ 橋源氏庵(昼食) 12:45 ○楽山園 14:00 ◎こんにゃくパーク 15:15 高崎駅 15:50頃</p> <p>◎入場観光 ○下車観光 △車窓観光</p> |



富岡製糸場



楽山園



こんにゃくパーク

B：11月1日発／日帰り 吹割の滝と人気の道の駅川場田園プラザをめぐるツアー

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 旅行期日 | 2025年11月1日（土） |
| 旅行代金 | お一人様8,000円（税込） |
| 募集人員 | 40名（最少催行人員30名） |
| 添乗員 | 同行いたします |
| 旅行代金に含まれるもの | バス代、有料道路代、見学科、昼食代、添乗員費用、乗務員費用 |
| 旅行代金に含まれないもの | 飲食代等個人的な費用 |
| 利用バス会社 | 群馬バスまたは多野観光バスまたは群馬中央バス |

東洋のナイアガラとも称され、10月末には紅葉の見頃を迎える名勝「吹割の滝」、四季折々の花木が楽しめる古刹「吉祥寺」など、北部の名所を巡るコースです。全国道の駅グランプリ上位常連の「川場田園プラザ」や群馬県産の素材や製法にこだわった「土田酒造」では、群馬地場産の逸品をお探し求めいただけます。

行程

| 日付 | 行程 |
|--------------|--|
| 11月1日 （土） | <p>高崎駅 吹割の滝 特製牛すき焼き御膳 原田農園(昼食) 酒造見学 土田酒造 高崎駅</p> <p>9:00 10:10 11:10 11:40 12:45 13:00 13:30</p> <p>..... 13:40 14:20 14:30 15:10 16:15頃</p> <p>..... 青龍山 吉祥寺 川場田園プラザ</p> <p>◎入場観光 ○下車観光 △車窓観光</p> |



吹割の滝



川場田園プラザ

C：10月31日発／1泊2日 日本の名湯草津温泉とハッ場ダム見学ツアー

| | |
|--------------|--|
| 旅行期日 | 2025年10月31日（金）～11月1日（土） |
| 旅行代金 | お一人様2名1室 42,000円（税込） 3名1室 38,000円（税込） 4名1室 38,000円（税込） 5名1室 37,000円（税込） |
| 宿泊施設 | 草津温泉ホテルリゾート または 喜びの宿高松 または ホテル一井 |
| 募集人員 | 40名（最少催行人員30名） |
| 添乗員 | 同行いたします |
| 旅行代金に含まれるもの | 宿泊代（1泊2食付き）、2日目の昼食代、バス代、有料道路代、見学科、添乗員費用、乗務員費用 |
| 旅行代金に含まれないもの | 飲食代等個人的な費用 |
| 利用バス会社 | 群馬バスまたは多野観光バスまたは群馬中央バス |

かつて万病に効くとされた天下の名湯「草津温泉」でご一泊いただいたのち、2日目は関東一帯を支える水がめとして完成した「ハッ場ダム」の堤内見学を行います。

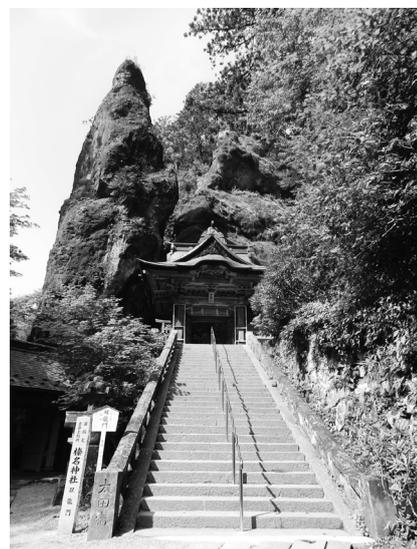
地元産の原料にこだわったお酒やお菓子をお求めいただける「浅間酒造」、上毛三山の一つとして古くから信仰を集めた「榛名神社」も併せて訪問し、群馬の様々な側面を体感いただけるツアーです。

行程

| 日付 | 行程 | |
|-------------------|--|-----------------------------------|
| 10月31日 （金） | G×ツセ群馬 草津温泉(泊) 15:00 17:20頃 | 朝：－ 昼：－ 夕：○ 【宿泊地：未定】 |
| 11月1日 （土） | ご出発まで湯畑周辺の散策をお楽しみください ホテル ◎浅間酒造観光センター ◎ダムガイドツアー※昼食付 ハッ場ダム・道の駅ハッ場ふるさと館 ○パワースポット 榛名神社 高崎駅 10:00 10:20 10:50 11:00 12:45 13:30 14:30 15:20頃 | 朝：○ 昼：○ 夕：－ |
| ◎入場観光 ○下車観光 △車窓観光 | | |



草津温泉



榛名神社

申込方法

エクスカージョンのお申し込みは、インターネットからオンライン登録をお願いいたします。

申し込みURL <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/jmha63/>



- ・受付開始、締切日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・参加者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。
- ※各コースとも東武トップツアーズ株式会社の募集型企画旅行契約となります。

申込期間

2025年4月7日(月)～8月29日(金)

支払方法

クレジットカード決済・銀行振込からお選びいただけます。

詳しくは学会ホームページにてご確認ください。

振込期限：2025年9月9日(火)

- ・請求書はシステム上で発行できますので、ご自身で操作してください。事務局では請求書の発行はいたしません。

取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。

受付締切日（8月29日）まではWEB上で変更できます。ご自身で操作してください。

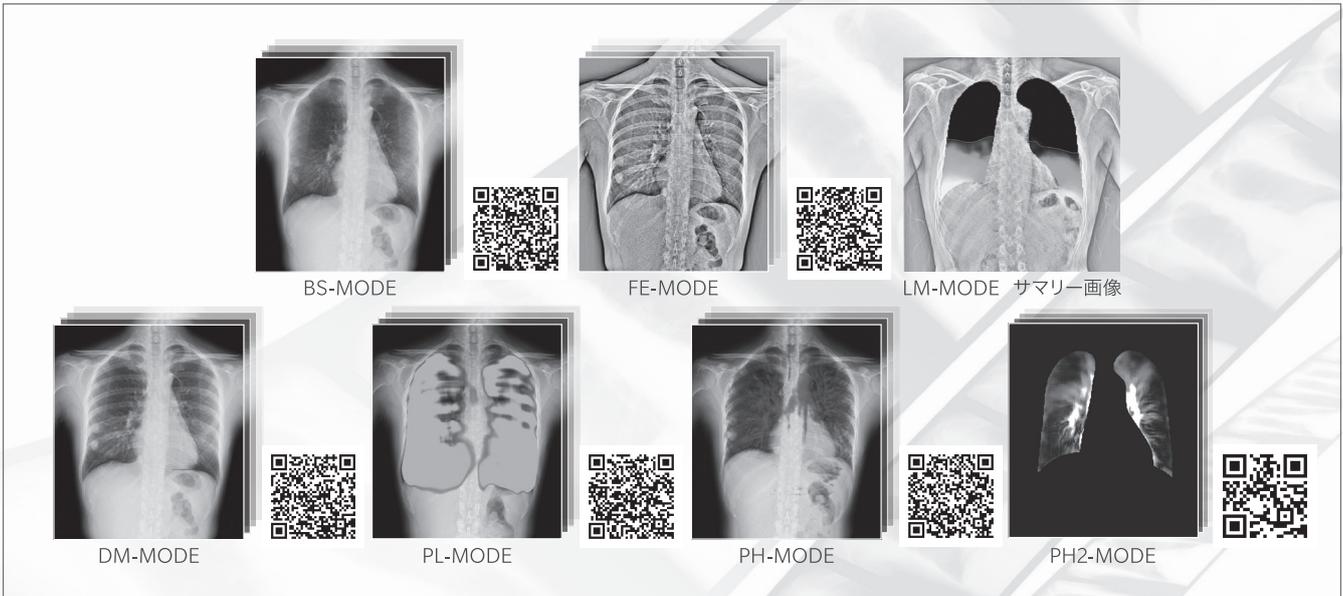
※お電話およびFAXでの変更・取消は、受け付けいたしません。

| 取消日（旅行開始日の前日から起算して） | 取消料 |
|---------------------|-----------|
| (1) 8日目まで | 無料 |
| (2) 7日目～2日目 | 宿泊代金の20% |
| (3) 旅行開始日前日 | 宿泊代金の40% |
| (4) 旅行開始日当日（旅行開始前） | 宿泊代金の50% |
| (5) 旅行開始後または無連絡不参加 | 宿泊代金の100% |



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas



Dynamic Digital Radiography デジタルX線動画撮影システム

単純X線撮影は、動画撮影の領域へ

デジタルX線動画撮影システムは、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」、可搬型DR「AeroDR fine motion」、及び一般 X線撮影装置*1 で構成され、パルスX線を連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで、動画を作る、全く新しいシステムです。



X線動画解析ワークステーション

KINOSIS

*1 一般X線撮影装置としては、(株)島津製作所「診断用X線装置 RADspeed Pro」を採用しています。★「X線動画解析ワークステーション KINOSIS」及び「KINOSIS」は、「画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1」(製造販売認証番号:230ABBZX00092000)の呼称です。★「AeroDR fine」は、「デジタルラジオグラフィー SKR 3000」(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。★記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。



医療機器総合商社 株式会社 六 濤 (リクトウ)

人生 100 年時代を支える信頼される企業を目指し

ヘルスケア業界におけるリーディングカンパニーの実現へ！

取 扱 商 品

■機器・システム商品

X線診断装置/CR装置/FPD装置

X線CT装置/MRI装置

核医学検査装置/放射線治療装置

超音波診断装置

内視鏡検査装置

医療用画像管理システム

電子カルテシステム

医事会計システム 等

■機器保守・修理

医療機器保守

医療機器修理 等

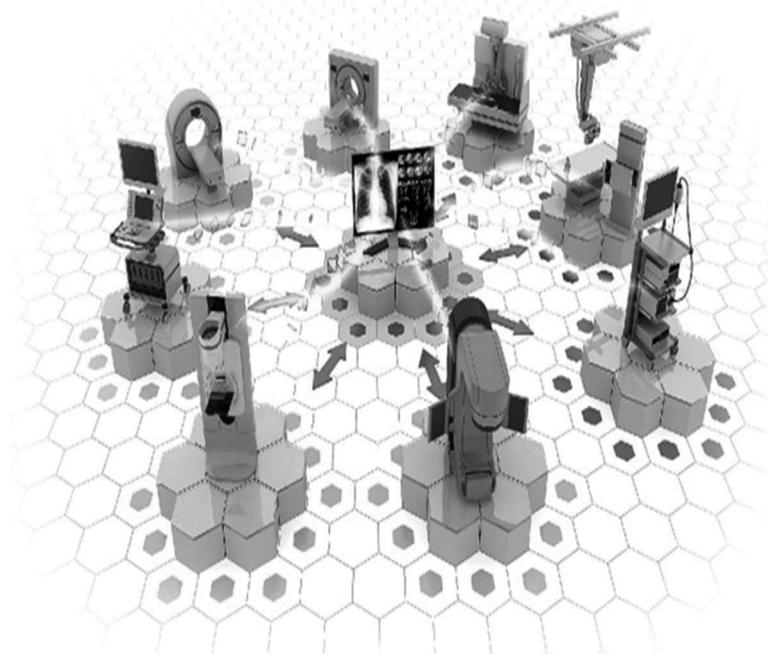
■その他

SPD

医療材料

消耗品

福祉機器 等



本 社

〒113-0033

東京都文京区本郷 3-14-3

T E L (03)3813-7045

FAX (03)3813-7014

<http://www.rikutoh.com/>

群馬営業所

〒371-0032

群馬県前橋市若宮町 3-6-21

T E L (027)212-7846

FAX (027)212-7847

LSI SOLUTIONS®

COR-KNOT®

COR-KNOT チタンクリップセット



製造販売元

VITAL

株式会社バイタル

〒140-0002 東京都品川区東品川 1丁目 2番 5号 リバーサイド品川港南ビル 6階

TEL: 03-3458-1265 FAX: 03-3458-1263

URL: <http://www.vital-j.co.jp> E-mail: marketing@vital-j.co.jp

製造元

LSI SOLUTIONS®

LSI Solutions (米国)

医療機器承認番号: 302006Z100038000
販売名: COR-KNOT チタンクリップセット

トキ、
メイク、
マチ。



思えばいつだって、まちとともにあった。

当社施工事例



- 所在地 〒371-0024 前橋市表町2-11-8
- 電話番号 (027) 224-1751

KOBAYASHI
小林工業株式会社

トキ、
メイク、
マチ。

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD003-TB-2103-1

AT-Patch

ATパッチ心電図レコーダ

ATsens



連続
7日間
記録可能



1time
USE

ディスプレイレス ... メンテナンスフリー

13g

小型軽量 ... 電池や電極、メモリー一体型



耐水機能 (IP44) ... シャワー入浴可



クリアなECG波形

販売名：ATパッチ心電図レコーダ 一般名称：長時間心電図データレコーダ 認証番号：304AHBZX00022000

製造販売業者

日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号

<https://www.jll.co.jp>

JLL Japan Lifeline



// ブレークスルーを 患者さんへ

バイエルのミッション「Health for all, Hunger for none(すべての人に健康を、
飢餓をゼロに)」の実現に向けて、患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Health for all, Hunger for none

いのちを守るチームの一員となる



TSUMUG

Medical co.

事業内容

- ・ 医療機器メンテナンス
- ・ レンタル
- ・ MDS (メディカルデータセキュリティ)
- ・ ホルター心電図解析
- ・ 業務支援&リモート支援 (機器管理業務)
- ・ 医療機器管理システム



生体検査 項目単価従量契約方式

Pay per Physiological Test

装置の稼働件数に応じて料金変動するプランです。

装置をご使用いただいた分の月額請求となります。

契約
単価
(機器 + 保守)

×

実績
件数

=

請求
金額

▶
お支払い



アズサイエンス株式会社

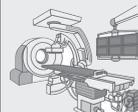
※ご契約単価は、現状の運営状況・実績件数、
年間想定検査数等を基に算出いたします。

1 イニシャルコスト不要



検査実施後に請求が発生する後払い方式のため、導入時のイニシャルコストが不要です。
※初期設置時に別途工事費用が発生する可能性があります。

3 最新機器を導入可能



装置は幅広いラインアップから最新機器を選択することができます。
また、メンテナンス契約も含めた提案です。

2 原価の明確化



検査実施時の1テストあたりのコストが一定のため、検査原価の明確化が可能です。

4 事務処理の簡略化



請求書を検査実施の翌月に発行します。請求書は年12枚のみ。事務業務の大幅な簡略化を実現します。

※ご使用計画に応じた契約期間を設定できます。
※検体検査系と合わせた総合的な項目単価従量契約方式提案も対応できます。

Az アズサイエンス株式会社
SCIENCE AZ Science Co., Ltd.

松本本社
長野県松本市村井町西2-3-35

TEL.0263-58-0021

東京本社
東京都江東区石島 2-14 ImasRiverside 2F

TEL.03-5843-8155

高崎営業所
群馬県高崎市新保町1039-4

TEL.027-370-2220

☆設備・警備・清掃等の建物管理のご用命は当社へご一報ください☆

☆人材を随時募集していますので、ご連絡をお待ちしております☆

より良い環境づくりに奉仕する

東 朋 産 業 株 式 会 社

代 表 取 締 役 村 田 茂 行

〒371-0858 群馬県前橋市総社町桜が丘 1 2 2 5 番地 2

TEL : 027-253-8260 FAX : 027-253-8284

営業所：高崎・藤岡・富岡・沼田・渋川・館林・太田・伊勢崎・安中・大泉・埼玉・東京

ISO 9001
ISO 14001

認証

医療関連サービスマーク・プライバシーマーク 取得

“知らぬまに腹部大動脈瘤”

腹部大動脈瘤の早期発見・診断・治療の啓発を目的にキャンペーンを展開中です。



あなたの未来が破れる前に。

65歳以上
高血圧
喫煙歴
家族歴*

* 第一度近親者(両親・兄弟姉妹)

キャンペーン資料がご注文いただけます

施設などで掲出・設置いただけるポスターや疾患情報を簡単にまとめた冊子をご用意しました。患者さんやそのご家族のために、ぜひご利用ください。

■ 啓発冊子 (A5サイズ)



■ 啓発ポスター (A3サイズ)



■ 院内ディスプレイ用疾患啓発動画



申し込みフォームは右記の二次元コードもしくはURLからアクセスしてください。



<https://gmd.cm/jpaaa18>



石原 利保, 香川 宜純, 古森 公浩, 高橋 新, 放射性腹部大動脈瘤の治療実施と治療開始までの期間に関する研究, 令和4年度 分科報告書4, 厚生労働科学研究成果データベース, 2023年7月24日 公開, アクセス 2024年1月4日, https://mhfw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202209013A-buntan4.pdf

啓発ウェブサイトは右記の二次元コードもしくはURLからアクセスしてください。



<https://www.goremedical.com/jp/aaa-information>

ゴア
について

ゴアは循環器ソリューションのリーディングカンパニーとして、これまで全世界で5,000万本以上のゴアのデバイスが治療に使用。また胸部血管内治療用ステントグラフトとして初めてEU・米国・日本で承認されるなど長年にわたる材料科学と問題解決のための専門知識をもとに、信頼性の高い製品提供に取り組んでいます。

Together, improving life



ゴア, GORE, Together, improving lifeおよび記載のデザイン(ロゴ)は, W, L, Gore & Associatesの商標です。
© 2025 W, L, Gore & Associates, Inc./ 日本ゴア合同会社 25AR3005-JA01 JANUARY 2025

1回の臨床検査で
救われる「いのち」がある。



🔍 臨床検査事業

臨床検査 / 遺伝子検査 / 予防医学 / 治験検査

🌐 医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守

📄 関連事業

食品衛生検査 / 環境検査 / 歯科検査

臨床検査は健康な未来への道しるべ



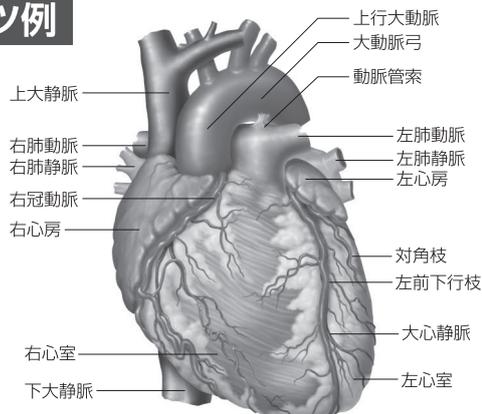
バイオとシステムで医療に貢献します
株式会社ビー・エム・エル
<https://www.bml.co.jp/>

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市越の場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132

トーアエイヨー株式会社『医療関係者向け情報』会員限定コンテンツ 「インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラス」のご紹介

コンテンツ例

心臓の図
(正面)



■「インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラス」は、循環器疾患患者さんへのインフォームドコンセントにご利用いただくための病態・検査・治療に関するイラスト・画像集です。

■パソコンやタブレット型情報端末での患者さん説明をはじめ、イラストや画像をダウンロードいただけます。

■ご利用には、会員登録が必要となります。

コンテンツへのアクセスは

URL <https://med.toaeiyo.co.jp/contents/atlas/index.html>

トーアエイヨー アトラス

検索



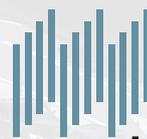
トーアエイヨー株式会社
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-10-6

2020年12月作成 ATA4201K



活気ある都市の空気、長く受け継がれてきた文化、
厳選した食材を用いた心に残る料理の数々。
その地方、その地域ならではの豊かさを提供することで
ここでしか出会えない喜びをホテルメトロポリタンは提供します。
そして、洗練された佇まいと美意識でお客さまをお迎えし、
あたたかな真心と細やかな心遣いでお客さまをもてなします。

やすらぎと華やぎが出会う場所。



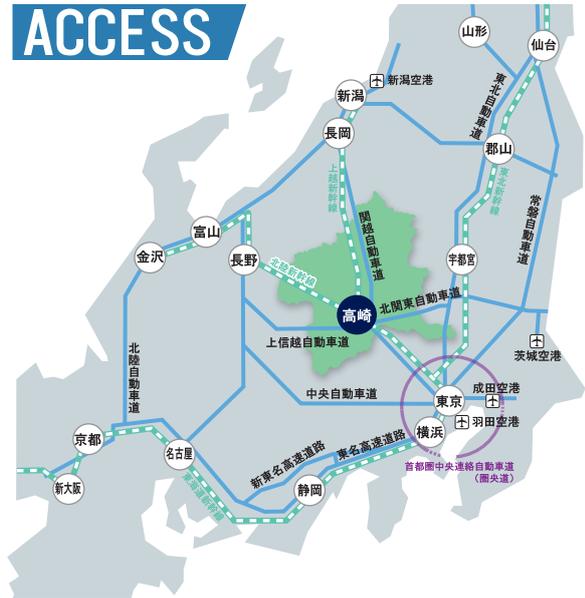
**HOTEL
METROPOLITAN**
TAKASAKI JR-EAST



北関東最大級 コンベンションセンター



ACCESS



〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 12-24 TEL.027-322-2100 FAX.027-384-8018
E-mail : info@g-messe-gunma.jp HP : https://www.g-messe-gunma.jp/

- ・東京駅から高崎駅まで新幹線で約 50 分
高崎駅から徒歩約 15 分
- ・お車で高速道路を利用 東京から約 60 分
最寄りの高崎玉村スマート IC から約 15 分